

---

---

# 履修要項

---

保健医療技術学部・看護学部  
2026

---

---

佛教大学

在学中保存

# 『履修要項』（本冊子）は 卒業時まで使用します 在学中は必ず保存のこと

在学中、本冊子に掲載する内容に変更が生じた場合は、佛教大学ホームページ『履修要項』にてお知らせします。

## 学籍について

学籍異動や学費、学生生活に関することは『学生生活ハンドブック』をご確認ください。



## 学生への 連絡方法

学生の皆さんに周知を要する学修上の連絡事項は、すべてB-netに掲出します。

一旦、掲出したものについてはすべての学生へ連絡したものととして取り扱います。

定期的にB-netを確認し、見落としのないように注意してください。見落としによる不利益は学生自身の責任とします。

※B-netの詳細は、次頁を確認してください。

※一部、学内掲示板でもお知らせします。設置場所は以下の通りです。

### ●学内掲示板一覧



掲示内容	1号館北側	1号館(2階)	6号館中通路	6号館東側	7号館中通路(北)	7号館中通路(南)	各研究室棟(8・10・11号館、二条キャンパス1号館3～6階)	二条キャンパス1号館(1階)事務室前	二条キャンパス1号館(2階)
履修関係	○	○	—	—	—	—	—	○	—
進路・就職	○	○	—	—	—	—	—	—	○
学生生活	○	○	—	—	—	—	—	○	○
大学行事	○	○	—	—	—	—	—	○	○
その他	—	関係領域ごとに掲示	学生専用	学生専用	書道展示	—	学部・学科の連絡専用	事務室からの連絡	学部・学科・事務室からの連絡

### 履修に関する問い合わせ

必ず本人が学生支援課カウンター窓口にて問い合わせてください。本人以外からの問い合わせや、本人であっても電話での問い合わせには一切お答えできません。

# B-net Portal について

## B-net Portal とは（略称 :B-net）

大学が発信するお知らせの確認や各種申請の手続きなどを行うことができるポータルサイトです。

B-netにはWeb版とスマートフォンアプリ版(UNIPA)があります。

## ログイン方法について

1. 以下のとおり B-net にアクセスしてください。

【Web 版】

<https://b-netrx.bukkyo-u.ac.jp/>

または、佛教大学ホームページ (<https://www.bukkyo-u.ac.jp/>) トップページ（ホーム画面）下部にある「ポータルサイト B-net」をクリックしてください。

※スマートフォン用サイトもあります。詳しくは、上記 B-net ログイン画面よりご確認ください。

2. ログイン画面からユーザー ID とパスワードを入力してください。

※ ユーザー ID およびパスワードについては、入学時に配付する「アカウント・パスワード通知」にて確認してください。

## ホーム画面

ホーム画面では、大学からのお知らせ、休補講・教室変更、教務情報などの掲示、各種利用マニュアルなどが確認できます。

（掲示例：落とし物連絡・奨学金手続き案内・履修登録期間開始・教室変更・就職ガイダンスなど）

## 個人情報の照会、変更申請

大学（B-net）に登録されている、本人、保証人情報などを確認することができます。また、登録情報（住所や電話番号など）に変更が生じた場合、「ホーム画面＞情報照会＞学籍情報変更申請」より変更することができます。

## 授業情報

授業に関する各種情報を確認することができます。

開講科目の開講曜日・講時や「シラバス照会」では、授業の概要、到達目標、成績評価の基準、テキストなどが確認できます。

※シラバスについての詳細については『履修要項』p.19 を確認してください。

## 資格・成績

「希望資格登録」では、取得希望する教育職員免許状・諸資格を登録できます。登録をすることで、事務手続きや履修指導をうけられます。

「成績照会」では、自身が学修した授業科目の成績や現在の修得単位数等を確認することができます。

## Web 申請

学籍異動や傷害・事故報告、学内奨学金をはじめとした各種申請ができます。

## 事務取扱時間および電話番号

主な **学生対応窓口** の事務取扱時間および電話番号は以下のとおりです。

※授業日や行事日以外で事務の取扱いを休止する場合は B-net でお知らせします。

窓口	場所	電話番号	取扱時間
学生支援課	1号館2階	075-493-9009	平日 / 9:00~13:00 14:00~17:00 土曜 / 9:00~13:00
免許・資格課		075-493-9092 (免許関連)	
		075-493-9016 (資格関連)	
二条キャンパス事務課	二条キャンパス 1号館1階	075-366-5660	
情報システム課	1号館2階	075-493-9003	平日 / 9:00~13:00 14:00~17:00
社会連携課		075-493-9002	
国際交流課		075-493-9017	
進路就職課		075-493-9058	平日 / 9:00~17:00 土曜 / 9:00~13:00
生涯学習部 (通信教育課程) 事務局	1号館1階	075-491-0239(代)	木曜日および通信教育課程の学事行事的ない 土曜日・日曜日・祝日は事務取扱休止日。 詳細は通信教育課程HP参照。

※変更となる場合は、B-net にてお知らせします。

# 目次

佛教大学を知る .....	3
---------------	---

## I. 学部の教育目標

保健医療技術学部 .....	10
看護学部 .....	12

## II. 履修一般事項

履修にあたって .....	17
授業科目の区分について / 必修科目・選択科目・自由科目の分類について / 単位 / セメスター制 / シラバス / 科目ナンバリング (学部) / カリキュラムマップ (学部) / カリキュラムツリー (学部)	

履修登録 .....	22
履修登録 / 履修登録の流れ / 履修登録の留意事項 / 履修登録の手続き / 履修登録状況の確認 / 履修登録の完了 / 履修取消し制度	

授業 .....	28
授業時間 / 集中講義・実習 / 休講 / 補講 / 授業欠席 / 公欠	

### 実習

保健医療技術学部 理学療法学科 .....	30
保健医療技術学部 作業療法学科 .....	31
看護学部 看護学科 .....	32

試験 .....	35
試験の種類 / 定期試験について / 教室試験 / リポート試験 / 追試験について	

緊急時における授業・試験の取り扱い .....	39
休講および定期試験休止 / 休講の解除および定期試験休止の解除 / その他の事項	

### 学校感染症罹患により

欠席した授業・試験の取り扱い .....	40
欠席の連絡方法について	

成績と単位認定 .....	41
成績 / 成績の確認 / 成績に関する調査申請 (成績疑義) について / 単位互換制度の単位認定 / 通信教育課程との併修履修による単位認定 / 他の大学・短期大学で修得した単位の認定 / GPA 制度	

卒業 .....	45
卒業所要単位と要件 / 卒業所要単位充足者発表 / 再試験 (卒業)	

## III. 教育課程

【共通教養科目】 .....	51
外国語科目履修の注意点 / 共通教養科目 履修科目表	

### 【専門科目】

保健医療技術学部 理学療法学科 .....	54
保健医療技術学部 作業療法学科 .....	64
看護学部 看護学科 .....	74

大学コンソーシアム京都「単位互換制度」 .....	83
---------------------------	----

短期海外語学研修 .....	84
----------------	----

派遣留学・交換留学 .....	85
-----------------	----

通信教育課程との併修履修制度(「免許併修」) .....	86
------------------------------	----

VII. 規程 .....	89
---------------	----

# 佛教大学を知る

---

- ・ 佛教大学の建学の理念ならびに使命と目的
- ・ 学章
- ・ ロゴマーク
- ・ 学歌
- ・ 公式マスコットキャラクター





# 佛教大学の建学の理念ならびに使命と目的

佛教大学は、学則第1条に示す通り仏教精神を建学の理念とし、大学の責務である「人材養成」を目的とし、「教育」「研究」「社会貢献」の三領域において、仏教精神に基づく多様な活動を行いながら、世界文化の向上と人類福祉の増進に貢献することを使命として、これを達成するために相応しい教育研究組織を設置しています。

## 学則第1条

「本学は学校教育法（昭和22年法律第26号）に基き、仏教精神により人格識見高邁にして、活動力ある人物の養成を目的とし、世界文化の向上、人類福祉の増進に貢献することを使命とする」

## 仏教精神

本学が建学の理念としている仏教精神とは、仏教を開いたゴータマ・ブッダ（釈尊）と浄土宗を開いた法然上人とに共通する生き方と考え方を指します。釈尊は「私とは何か」「私はどう生きるか」そして「私は自分自身に何を期待できるのか」つまり私の生きる道＝人の生きる道を求めて修行し、その道を成就して、われわれに人として歩むべき道を説き示したのです。一方、法然上人は、末法とも呼ばれた混乱の続く不安定な時代にあって、生きることに苦しみ、天災地変や戦乱の苦しみに喘ぐ人々の中で、大乘仏教に私の生きる道＝人の生きる道を求め、自己の愚かさを自覚し、念仏の道を体得し、すべての人が等しく導かれる道を説いたのです。ブッダによってはじめられ、法然上人によって受け継がれた生き様と考え方こそ、「転識得智」なのです。それは現実の生き方の中で、常に己自身のあり方をしっかりと見つめながら、学んできた知識を人生のさまざまな場において何を為すべきか判断する力、実行してゆく力、すなわち生きる力へと転換してゆける智慧を得ることなのです。この二人に共通する生き方こそが仏教精神に他なりません。この精神にのっとり、自らも生かされている社会において、他に幸せを分かち与え、他の苦をぬぐい去る慈悲のこころをもって、自らが生きていることを活かしてゆける人材の養成を目指します。

## 佛教大学の教育方針

### 人材養成の目的

佛教大学は、学則第1条に定める使命を果たすために、建学の理念である仏教精神の4つの力（①自分を客観的にとらえる力、②目標に向かって継続し努力する力、③周りの人を思いやる力、④多様性を受け入れて協力する力）を基盤として、社会で実際に活動するために必要な基礎的な知識や素養、専攻する学問分野における専門的な知識・技能を身につけ、学修経験を統合し、生涯にわたって学び続けながら周囲の人々と協力し、主体的に自己実現や社会貢献に向けて活動することのできる人材を養成します。

### 教育研究上の目的

佛教大学は、学則第1条に基づき、建学の理念である仏教精神の4つの力（①自分を客観的にとらえる力、②目標に向かって継続し努力する力、③周りの人を思いやる力、④多様性を受け入れて協力する力）を基盤として、基礎的な知識や素養、専門的な知識・技能を身につけ、学修経験を統合し主体的に自己実現や社会貢献に向けて活動することのできる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的とします。

### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

以下に示す力を修得するとともに、学部・学科の人材養成の目的に基づいて設定された教育課程を修めた学生に対して、本学は卒業を認定し学位（学士）を授与します。

（仏教精神）

**D1** 仏教精神に基づく4つの力、①自分を客観的にとらえる力、②目標に向かって継続し努力する力、③周りの人を思いやる力、④多様性を受け入れて協力する力を身につけ、専攻する学問分野の知識や技能と統合して活用することができる

（知識・理解・汎用的技能）

**D2** 社会人として必要な幅広い教養や、専攻する学問分野の体系的な理解に不可欠な多様な知識・技能を身につけ、活用することができる

①多文化・異文化に関する知識により、多様な視点で物事を考えることができる

②文化、自然、社会に関する知識により、体系的に物事を考えることができる

③ICTを活用して、多様な情報を収集・分析し、効果的に活用することができる

④自己理解を深め、職業観を持ち、自らのキャリアを決定することができる

**D3** 専攻する学問分野における専門的な知識や技能を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる

⑤専門領域に必要な基礎的な知識や視点を習得している

⑥専門領域の深い知識や技能を習得している

⑦情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる

⑧社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる

（態度・志向性）

**D4** 社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、専攻する学問分野で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる

（学びと成長への内発的動機）

**D5** 自ら探求したい課題・テーマを見出し、目的や目標を定め、生涯にわたり主体的に学び続けるとともに、経験や実践を振り返りながら身につけた多様な能力を統合し、新たな学びへとつなげることができる。さらに、他者と協働し、共に成長する意欲や姿勢を持ち続けることができる

### <教育課程の編成方針>

佛教大学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定めた知識・理解・汎用的技能などの力を修得できるように、共通教養科目、専門教育科目、その他の必要な科目を順次性・体系性をもって教育課程（カリキュラム）を編成します。その際、カリキュラムの構造を分かりやすく示すだけでなく、科目の順次性、および科目内容の難易度については科目ナンバリングを、科目間の関連性やカリキュラムの構造についてはカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップなどのツールを提供し、学生が自らの学修目的にあわせて、カリキュラムの順次性、体系性、および各科目の特性や内容、科目の開講時期（配当セメスター）などを考慮しながら主体的に履修できるよう配慮します。

また学習方法については、教育課程の目的が十分に達成できるよう、講義、講読、実技、実験、実習、演習などを適切に組み合わせた科目を提供します。

### <教育課程実施の方針>

#### (1) 仏教精神

仏教精神に基づいた4つの力を身につけ、専攻する学問分野の知識や技能と統合し、活用できるようにするために、共通教養科目の内に仏教・自校教育科目群を配置します。また、必要に応じて、専門科目の内に仏教精神涵養科目を配置するとともに、実践や実習、ボランティアなどの機会を提供します。

#### (2) 知識・理解×汎用的技能

##### A【主に共通教養で習得】

社会人として必要な教養や、専攻する学問分野の理解に必要な基礎的知識および技能を身につけ、また活用することができるようにするため、共通教養科目を提供します。共通教養科目は、グローバル科目群、データサイエンス科目群、初年次教育科目群、キャリアスタディ科目群、プロジェクト科目群、自己形成科目群によって構成します。

- ①グローバル科目群は、多文化・異文化に関する知識により、多様な視点で物事を考えられるようにするために、語学・国際教養・海外研修で構成する
- ②データサイエンス科目群は、ICTを活用することにより、多様な情報を収集・分析し、情報を効果的に活用できるようにするために、必修科目のICTリテラシーのほか、データサイエンスや統計学、プログラミングの基礎を学ぶ科目で構成する
- ③初年次教育科目群は、初年次学生が大学生として基本的な資質・能力を修得し、キャリアに対する意識を養うため、「スタディ・スキルズ」「キャリア・スキルズ」等の科目で構成する。また、各学部学科において、専門学習への導入を目指し、「アカデミック・スキルズ」を提供する
- ④キャリアスタディ科目群は、社会人基礎力修得の必要性を理解するとともに、現代社会に即した幅広い職業観を養い、自己理解を深めながら、学習生活・大学生活やキャリア意識をもつことを目指し、社会人基礎力をより実践的に習得する「マイファーストキャリア」「ライフ・キャリアデザイン」「キャリア形成とマネジメント」などの科目で構成する
- ⑤プロジェクト科目群は、主にPBL手法を用いながら、課題解決に取り組み、社会に内在する諸問題を知り、考え、協力しながら行動する力を養うために、プロジェクト科目を置く
- ⑥自己形成科目群は、文化、自然、社会に関する知識および基礎的な考察する力を養うため、「文化と芸術」「地域と社会」「人間と自然」に関係する科目で構成する

##### B【主に専門で習得】

所属する学部・学科において、専攻する学問分野における専門的な知識・技能を身につけ、社会において活用することができるようにするため、専門科目を学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目、関連科目に区分し、体系的に編成します。

- ①専攻する学問分野に必要な基礎的知識や視点を習得するために、学部ごとに学部基幹科目を提供する
- ②専攻する学問分野に関する専門的な知識や技能を習得するために、学科ごとに学科基礎科目を提供する
- ③専攻する学問分野に関するより高度な知識や技能を習得し、知識や情報を分析し、論理的に表現することができるよう、学科ごとにコースや領域に即した学科専攻科目を提供する
- ④専攻する学問分野に関連した幅広い知識や技能を習得し、社会における諸問題の把握や解決に必要な情報の収集・分析、論理的な思考や表現に資する力を養うために学科ごとに関連科目を提供する

### (3) 態度・志向性

共通教養科目、専門科目ともに、アクティブ・ラーニング、PBL、グループワーク、演習・実習など、多彩な学習方法を組み込んだ科目を提供することにより、社会の一員としての意識や他者との協調・協働などの態度や志向性を身につけ、社会に貢献しようとする意志を涵養します。

### (4) 学びと成長への内発的動機

共通教養科目の内に、自らの興味や関心をきっかけに学びの幅を広げ、また実際の社会問題と向き合い解決を目指すことによって、主体的に粘り強く学び続け、他者と協働的に学び、ともに成長することの重要性が体得できるよう、学部横断科目およびプロジェクト科目を提供します。

## <学修成果の評価方針>

学修成果として修得した力や内容の評価するために、科目の特性に応じて、以下に示す4種類の評価方法を組み合わせて評価を行います。また、卒業論文および卒業研究レポートの評価は、ルーブリックなどの手法を用いながら論文やレポートの内容に関する評価と口頭試問評価によって行います。

- ①筆記試験による評価
- ②レポート試験による評価
- ③実技試験による評価
- ④授業への取組状況や授業内の小テストなど、科目担当者が指定する方法による評価

## 学章

本学が建学の理念の拠り所としている浄土宗を開かれた法然上人の生家の家紋であった杏葉に大学の文字を配したものです。

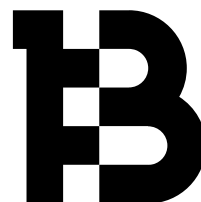
仏教の精神、浄土宗創建の理念に基づき、世界の福祉と文化の向上に貢献する人材の養成を旗印としています。



## ロゴマーク

佛教大学の「佛」という漢字と、アルファベットの「B」がモチーフ。人と人が、手を差し伸べ互いを支え合い、つながる様子をイメージしています。

ボールドのゴシック体をベースにして、堂々と力強く成長していく姿を表現しています。



## 学歌

作詞:小西存祐  
作曲:吉田恒三 (昭和11年4月制定)

一、高<sup>ひか</sup>輝る千古の都  
若草の萌出るところ  
ここ鷹陵の吾等が学舎  
ここ鷹陵の吾等が学舎  
ここ鷹陵の吾等が学舎

二、礙<sup>さえ</sup>られぬ光こめたり  
黒谷の春のあけぼの  
誰<sup>た</sup>ぞ開く報恩蔵<sup>ほうおんぞう</sup>  
誰<sup>た</sup>ぞ開く報恩蔵<sup>ほうおんぞう</sup>  
誰<sup>た</sup>ぞ開く報恩蔵<sup>ほうおんぞう</sup>

三、仰ぎ見よ華頂の峰  
その高き教ぞ栄ゆる  
還<sup>げん</sup>愚<sup>ぐ</sup>痴<sup>ち</sup>の聖在ませり<sup>ひじりい</sup>  
還<sup>げん</sup>愚<sup>ぐ</sup>痴<sup>ち</sup>の聖在ませり<sup>ひじりい</sup>  
還<sup>げん</sup>愚<sup>ぐ</sup>痴<sup>ち</sup>の聖在ませり<sup>ひじりい</sup>

## 公式マスコットキャラクター

開学 100 周年記念事業の一環として、有志の学生グループが中心となり制作に取り組みました。学生たちの熱心な活動が実を結び、2010 年 10 月 23 日の創立記念日に公式マスコットキャラクターとして発表されました。また、ネーミングは 1,400 件を超える応募の中から「ぶったん」と決定しました。



## ありがとうのうた「ありがとう—感謝—」

佛教大学開学 100 周年記念事業ありがとうプロジェクト企画

開学 100 周年の感謝の気持ちを表すために、ふだんなかなか言葉にできない「ありがとう」を伝えるきっかけとなるように、そのような想いで学生と教職員が一丸となり「ありがとう—感謝—」の楽曲がつけられました。



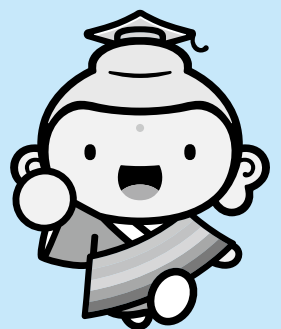
# I. 学部の教育目標

保健医療技術学部

P.10

看護学部

P.12



## I

## 保健医療技術学部の教育方針

教育  
目標

## 人材養成の目的

保健医療技術学部は、高い倫理観と他者への思いやりや円滑なコミュニケーション能力を有し、人々の健康に貢献できる人材を育成します。また、保健・医療に関する知識と専門職としての技術をもち、生涯にわたって自己研鑽を続ける力を備える人材を育成します。

## II

履修  
一般

## 保健医療技術学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

## III

教育  
課程

## 共通

## 理学

## 作業

## 看護

## その他

## VIII

## 規程

- D1 保健・医療に関する基礎的な知識と、専門職としての基本的な実践能力を有している
- D2 さまざまな環境で生活する人々の健康に貢献するために、情報や知識を収集・分析し、適切な説明・報告をすることができる
- D3 豊かな人間性と倫理観を基盤に、保健・医療・健康に携わる者として人を思いやり共感できる
- D4 関係する全ての人々と良好なコミュニケーションをとる能力を有している
- D5 多職種連携における専門職としての自身の役割を理解し、協働することができる
- D6 社会の変化や保健・医療の高度化・情報化に関心を持ち、目標を持って生涯にわたり自己研鑽し続ける力を持っている

以上に示す力を修得するとともに、佛教大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）および保健医療技術学部各学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に示す力を修得した学生に対して学位（学士）を授与します。

## 保健医療技術学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

### <教育課程の編成方針>

保健医療技術学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定めた保健・医療に関する知識、専門家としての心構えや資質、実践能力などの修得に向け、学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目、関連科目を順次性、体系性を持って教育課程（カリキュラム）を編成します。また医療専門職の国家資格やその他の資格取得といった個々の学修目的に合わせて、講義、演習、実習、学外（施設）実習などを適切に組み合わせ階層的に配置します。

### <教育課程実施の方針>

- ①保健・医療に関する基礎的な知識と、専門職としての基本的な実践能力の修得に向けた基盤となる科目として学部基幹科目、学科基礎科目を提供する
- ②さまざまな対象者の健康に貢献するために、情報や知識を収集・分析する方法や、それらを適切に説明・報告するための手法が修得できるように、学科基礎科目、学科専攻科目を提供する
- ③豊かな人間性や倫理観などの社会人としての資質を育み、それらを専門職の基盤とするために学部基幹科目や学科基礎科目、学科専攻科目を配置し、講義や演習、学外（施設）実習を提供する
- ④コミュニケーション力の向上を目的として学科専攻科目における学内演習・実習、学外（施設）実習を提供する
- ⑤自己研鑽の重要性を認識し、演習などでそれを実行できる素地を育成できるよう学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目・関連科目による講義や演習、学外（施設）実習を提供する

### <学修成果の評価方針>

学修成果として修得した力や内容を評価するために、科目の特性に応じて以下に示す評価方法を組み合わせて評価を行います。

- ①筆記試験による評価
- ②実技試験による評価
- ③レポート試験による評価
- ④各種提出物の内容に関する評価
- ⑤科目担当者が指定する方法による評価（授業への取組状況や授業内小テストなど）
- ⑥学科が定める学外（施設）実習の評価

## I

## 看護学部看護学科の教育方針

教育  
目標

## 人材養成の目的

## II

履修  
一般

看護学部看護学科は、豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職として人を思いやり共感できる人材を養成します。あわせて、看護学の学識と基礎的な看護実践能力、対象を理解し支援するためのコミュニケーション力、多職種と協働する力、自己研鑽する力、研究的思考やグローバルな視点を備え、地域社会や人々の健康に貢献できる人材を養成します。

## III

教育  
課程

## 共通

## 理学

## 作業

## 看護

## その他

## 看護学部看護学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- D1 豊かな人間性と倫理観を基盤に、看護職として人を思いやり共感できる
- D2 看護学および隣接領域に関する知識と基礎的な看護実践能力を身につけている
- D3 グローバルな視点を持ち、地域社会やあらゆる環境下において生活する人々の健康に貢献できる力を身につけている
- D4 看護の対象を理解し支援するための適切なコミュニケーション力を身につけている
- D5 多職種連携における看護職の役割を理解し協働できる
- D6 よりよい看護を追求するための研究的思考を身につけている
- D7 社会の変化や保健・医療の高度化・情報化に関心を持ち、自己研鑽する力を備えている

以上に示す看護学部看護学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）および佛教大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に示す力を修得した学生に対して学位（学士）を授与します。

## VIII

## 規程

## 看護学部看護学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

### <教育課程の編成方針>

看護学部看護学科では、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき入学した学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識や能力を修得できるために、次に掲げる教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）5項目に添った教育課程を編成し実施します。

また、教育方法として、講義では、看護および多分野にわたる学問を通じ、看護職に必要な知識を体系的に学びます。演習では、学内で模擬実践を行い、看護技術やコミュニケーションスキル等を実践的に修得します。また、シミュレーション学習を中心とした、現場に近い環境での学修を行います。臨地実習では、病院や施設での体験学習を通じ、看護を支える思考とともに知識技術を活用し看護実践能力の向上を目指します。看護職に必要な知識、技術、態度を総合的に養成するため、講義、演習、実習を組み合わせ多面的に教育しています。

### <教育課程実施の方針>

- ①社会人として必要な教養や看護職として求められる基本的な資質・能力を身につけ、人間性を涵養するために、仏教関連科目をはじめとした科目を配置する
- ②社会環境の中で存在する人間を包括的（全人的）に理解することを基盤として、対象となる人々の健康に関与する看護学の基本を学ぶ科目を配置する
- ③多様な看護の場において、対象の健康段階や発達段階の特性とニーズに応じた看護を展開する能力を身につける学科専攻科目を配置する
- ④看護の知識と技術を統合し、対象を中心とした多職種と連携する能力を身につける臨地実習科目を配置する
- ⑤より良い看護を探求し、専門性の発展に貢献する看護学研究活動の基盤をつくる科目を配置する

### <学修成果の評価方針>

全ての開講科目について、それぞれの学修目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これらをシラバスに明記して学生に周知し、学修成果を厳格かつ公正に評価することにより、仏教精神を基盤に社会のニーズに応じた質の高い看護基礎教育を実現します。学生の学修成果は、定期試験、課題、発表等を用いて多角的な観点から評価します。また、臨地実習においては、学生が提出する記録物、実習態度等をふまえ、実習目標の達成度を総合的に評価します。具体的な評価方法は以下の通りです。

- ①筆記試験・レポート試験による評価
- ②演習科目での実技試験による評価
- ③実習科目での実習目標到達度（知識・技術・態度など）による評価
- ④授業への取組状況や授業内の小テストなど、科目担当者が指定する方法による評価

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

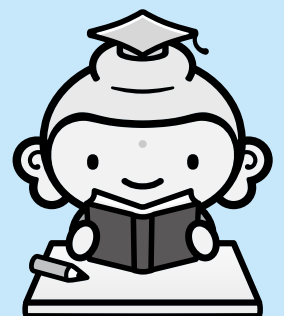
VII

規程



## Ⅱ. 履修一般事項

履修にあたって	P.17
履修登録	P.22
授業	P.28
実習	P.30
試験	P.35
緊急時における授業・試験の取り扱い	P.39
学校感染症罹患により欠席した授業・試験の取り扱い	P.40
成績と単位認定	P.41
卒業	P.45





II 章を読んで、履修のことについて大事なポイントを確認しましょう。

1. 科目分類には、必修科目、選択科目、( ) 科目) がある。…p.17 参照
2. 年間の履修登録上限は ( ) 単位)。( ) 科目) は履修登録上限に含まない。…pp.24-25 参照
3. 定期試験は ( ) に記載がある授業で行われ、( ) 分間で実施される。…p.35 参照
4. 公欠の取り扱いについて、授業を欠席するという状況に変わりはなく、担当者(教員)に ( ) を提出し、欠席分の振り返りを進める必要がある。…p.29 参照
5. 定期試験を実施する試験会場では、( ) を机上の通路側におく必要がある。…p.36 参照

## MEMO



対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

大学での履修をはじめるとあって、知っておかなければならない制度などがあります。以下をよく読み、履修にあってください。

## 授業科目の区分について

本学の授業科目は、社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために全学に開設している**共通教養科目**、各学部・学科における専門領域に関する知識・技能を修得し、問題把握力と問題解決力を涵養するための学びの本質を構成する**専門科目**に分けて開設しています。

### 《授業科目の区分》

系列区分	科目内容
共通教養科目	<b>仏教・自校教育科目群</b> 建学の理念である仏教精神に基づく4つの力 ①自分を客観的にとらえる力 ②目標に向かって継続し努力する力 ③周りの人を思いやる力 ④多様性を受け入れて協力する力を養います。
	<b>グローバル科目群</b> 多文化共生の第一歩として外国語を学び、異文化について理解することの意義を考え、大学における外国語学習に明確な動機付けを与える科目などがあります。
	<b>データサイエンス科目群</b> 数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、学ぶことや活用することの楽しさを実感できる科目を提供しています。社会にあふれるデータを読み解き、あらゆる学問や産業分野における課題発見・解決、新たな知見を引き出すことを目指します。 ※「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」対応
	<b>初年次教育科目群</b> 大学における基本的な読み・書き・思考の習得、1～2学年の早期から学生一人ひとりの職業観を育成し、自らのキャリアを決定できる力を養うとともに、社会にスムーズに移行して貢献できる力を付けることを目指します。
	<b>キャリアスタディ科目群</b> 「社会人基礎力・教養力」の養成を担う科目、「業種・業界研究」のきっかけを提供する科目、「職業体験」を実践する科目で構成し、社会人基礎力の養成・自己認識とキャリア形成を促します。
	<b>プロジェクト科目群</b> PBL（Project Based Learning）型の授業運営を取り入れ、自発性・創造性・知識の応用力・コミュニケーションスキルなど社会人基礎力の土台として必要とされる力を、他者との協働の中で総合的に学びます。
	<b>自己形成科目群</b> 学問知や社会的な知識を幅広く習得するとともに、知識の活用・探求のきっかけとなる科目群です。「文化と芸術を学ぶ」「地域と社会を学ぶ」「人間と自然を学ぶ」の3領域で構成されています。
+	
専門科目	<b>学部基幹科目</b> 学部における学修の基幹を認識してもらうための科目群
	<b>学科基礎科目</b> 学科における専門教育の基礎となる科目群
	<b>学科専攻科目</b> 学科における専門教育の学びの中核となる科目群
	<b>関連科目</b> 学部・学科の専門教育に特に関連する知識や考え方を学修するための科目群

## 必修科目・選択科目・自由科目の分類について

すべての授業科目は以下のいずれかに分類されています。

<b>必修科目</b>	卒業要件に必要で、必ず履修しなければならない科目
<b>選択科目</b>	卒業要件に含まれ、指定された科目群の中から選択して履修する科目
<b>自由科目</b>	卒業要件には含まれず、任意で履修する科目。履修登録単位上限には含めない

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

単 位

大学は、単位制となっています。各自履修登録した科目の授業を受講し、試験等を受け成績評価が合格となることによって、その授業科目に定められた単位の修得（単位認定）となります。

国が定める基準の1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

$$1 \text{ 単位} = \text{授業時間} + \text{準備学習復習} = 45 \text{ 時間}$$

「講義・講読」については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。

「演習」については、15時間から45時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。

「実験・実習および実技」については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。

本学では、教室等での授業時間を上記のとおり学則に定めています。

1学期あたり15週30時間の教室内における授業時間をもって単位計算の基本とし、計算上週1回の授業（1講義分）を2時間（実質90分）としますので、授業時間数と単位数については次表を基準とします。

ただし、演習・実習については科目により異なりますので、授業の週数はシラバスを参照してください。

《授業時間数と単位数》

授業科目	1週間当たりの授業時間	1学期の週数	修得単位数
講義・講読・演習	2時間（実質90分）	15週	2単位
		8週	1単位
外国語	2時間（実質90分）	15週	1単位
実験・実技・実習	2時間（実質90分）	15週	1単位

※教育実習等の学外で行われる実習（配属実習）は、上表の「実習」とは異なります。

## ！ポイント！

本学では修得単位に関わらず自動的に進級します。修業年限は4年です。また、休学期間を除き、大学に8カ年を越えて在学することはできません。

## セメスター制

セメスター（学期）制とは、15週（6ヶ月）を単位に1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに履修登録から単位認定までを完結させる制度です。

4年間は、合計8つの学期（第1セメスター～第8セメスター）に分けられることになります。

この制度では、集中したカリキュラムが展開でき、履修登録の機会が年2回になるため、年度途中において興味をもった学問領域への学修計画の修正も可能となります。また、学期制を採用する諸外国との対応を図ることもできるなど、集中的かつ学際的な学修効果が高められます。

学年・学期・セメスターの関係は次表のとおりです。

第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター

## シラバス

開講科目の授業テーマ・内容、到達目標や成績評価の基準、使用するテキストなど、授業に関する詳細な情報が書かれたものです。開講学期や曜日・講時、科目担当者も掲載されています。シラバスで科目の内容を必ず事前に確認し、学修計画を立ててください。シラバスはB-netより閲覧が可能です。

シラバスは、学期途中であってもやむを得ない事情により変更される場合があります。定期的に確認してください。

### シラバスに掲載されている内容

科目の概要、授業のテーマ、授業の概要、授業の目的・ねらい、到達目標、毎回の授業のテーマ・内容、課題に対するフィードバック、授業時間外の学修についての具体的な指示、活用する授業方法、受講にあたっての留意事項、個人パソコンの持参、成績評価の基準、テキスト、参考文献 など

シラバス確認の際は以下の点に注意してください。

- ・B-netでは全ての科目のシラバス検索が可能です。したがって、履修できない科目やクラスも表示されます。
- ・テキストの購入前には最新のシラバスにて、使用テキストを確認してください。

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 科目ナンバリング／カリキュラムマップ／カリキュラムツリー

学部ごとの「科目ナンバリング」・「カリキュラムマップ」・「カリキュラムツリー」表は以下のURL又はQRコードより確認してください。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/campuslife/course/numbering/>



## 科目ナンバリング（学部）

## 1. 科目ナンバリングとは

本学では、科目の属性や望ましい履修順序、授業形態や難易度を明示し、より順次的で段階的な学習計画を立てることを目的に全開講科目に科目ナンバーを付与しています。

この科目ナンバーの情報を参考に履修計画を立てることにより、どの科目をどの順で学ぶのがよいのか、またその科目がカリキュラム上どのように位置づけられ、どの程度の難易度なのかを理解できるので、4年間の学修計画がよりデザインし易くなります。

## 2. 科目ナンバリングの見方

（例）his05-3001-ocLE1 の場合、以下のような意味となります。

his 05 - 3 001 - oc LE 1  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦  
 歴史学科 学科専攻科目 第3セメス 通し番号 対面授業 講義科目 難易度1  
 ター推奨

## ① 【科目所属学部・学科】

本学で開講している科目を開講している学部、または学科を示しています。

学部	コード	学科	コード
共通教養科目	gec	—	—
仏教学部	fbu	仏教学科	bud
文学部	fli	日本文学科	jal
		中国学科	chi
		英米学科	eng
歴史学部	fhi	歴史学科	his
		歴史文化学科	cul
教育学部	fed	教育学科	edu
		幼児教育学科	ear
		臨床心理学科	cli
社会学部	fso	現代社会学科	con
		公共政策学科	pub
社会福祉学部	fwe	社会福祉学科	wel
保健医療技術学部	fhm	理学療法学科	phy
		作業療法学科	occ
看護学部	fnu	看護学科	nur

② 【科目区分】

その科目を開講するカリキュラムの中で、どの区分に配置されている科目かを示します。

区分	コード	区分	コード
共通教養科目	01	学科専攻科目	05
学部基幹科目	03	関連科目	06
学科基礎科目	04	自由科目	07

③ 【履修推奨セメスター】

各学科のカリキュラムにおいて、履修を推奨するセメスターを示します。履修要項に示している履修開始セメスターとは異なる場合がありますので注意してください。

④ 【ナンバー】

カリキュラム表の科目区分における通し番号です。

⑤ 【授業形態】

対面授業や遠隔授業といった授業形態を示します。

授業形態	コード
対 面 授 業	oc
遠隔授業（オンデマンド）	ol
遠隔授業（同時双方向）	in
対面授業と遠隔授業（オンデマンド）のハイブリッド	hb
対面授業と遠隔授業（同時双方向）が選択できるハイフレックス	hf
そ の 他	ot

⑥ 【授業方法】

各科目がどのような授業方法で実施されるのかを示しています。科目によっては、複数の授業方法を織り交ぜて実施している科目もありますが、その場合は、主な授業方法を示しています。

授業方法	教授法	コード
語 学	講義法と演習を織り交ぜ、知識の定着とスピーキング、リスニング能力の向上を目指す教授法	LA
講 義	主に教員が知識や情報の伝達を目的に講演する教授法	LE
講 読	書物や論文を学問的に正確に読解し学ぶ教授法	RE
演習・実験・実技	ゼミ・実験・演習・フィールドワークなど、座学ではなくディスカッションや作業を通じて学ぶ教授法	AC
実 習	免許・資格取得に関し、法令上規定された教育実習や病院実習、施設実習など、学外施設で学ぶ科目	PR
卒 業 論 文	卒業論文・卒業研究・卒業レポート	GR

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## ⑦ [難易度]

各科目のカリキュラム上の難易度、履修を推奨している学年の目安を示しています。この情報を参考に、体系的な履修計画を立ててください。ただし、基礎的な内容だからといって、単位修得が容易な訳ではありません。

難易度	基準	コード
基礎的な内容	基礎的な科目です。1・2年次に履修することを推奨します。専門科目を理解する上で基盤となる基礎知識を学ぶことができます。	1
標準的な内容	中級のレベルの科目です。2・3年次に履修することを推奨します。レベル1の科目で基礎をかためた上で履修することが理想的です。	2
高度な内容	発展的レベルの科目です。3・4年次に履修することを推奨します。4年次での卒業論文や卒業レポート、研究発表等に大きく関連する内容になります。また、4年間の学修成果となる（卒業論文や卒業レポート、研究発表）科目も含まれます。	3

## カリキュラムマップ（学部）

本学が掲げるディプロマ・ポリシー（DP）と、カリキュラム内の授業科目との関連性を示すもので、学生が各DPを修得するにあたり、どの科目を優先的に履修すべきかを示したマトリクス表です。

マークは授業科目とDPの関連性を表し、関連性の強い方から◎→○→△（強→弱）となります。

## カリキュラムツリー（学部）

カリキュラムの体系性を示し、授業科目相互の関係や学修の道筋等を表したチャート図です。カリキュラム全体の構造を俯瞰できるようにすることによって、体系的な教育課程の実施や編成を可能とします。

## 履修登録

履修登録とは、自身の学修計画にもとづいた授業を受けるため、最初に行う手続きです。履修登録は、定められた期間および方法以外で行うことはできません。

したがって、オリエンテーション中のガイダンスには必ず出席し、学科の指導や指示事項、シラバスおよび本書の内容をもれなく確認することが大切です。特に、任意で選択する科目については、授業内容が自身にふさわしいもの（理解度含む）が、シラバスで必ず確認してください。なお、履修登録を行わないと授業を受けることができません。



### 注意!

履修登録をしていない科目は単位認定を受けられません。

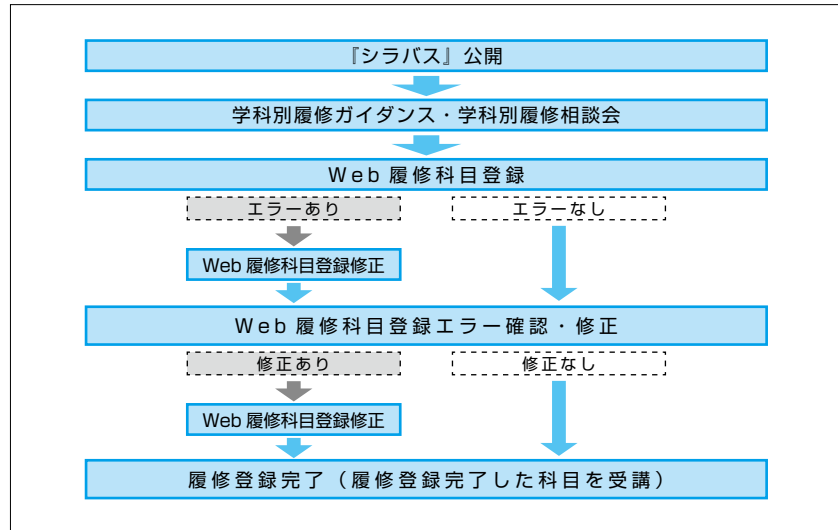


### ポイント!

#### 履修取消し制度について

履修登録した科目を取消することができる制度があります。(p.27 参照)

## 履修登録の流れ



履修登録の流れ(詳細ページ)	オリエンテーション期間中の行事等	行事等の概要
学修の計画	「シラバス」公開	・「シラバス」をもとに学修計画を立てる
履修登録の手続き	学科別履修ガイダンス	・クラス指定表等の資料が配付される ・各学科からの注意事項等の説明がある
	学科別履修相談会	・学科の教員と個別の疑問や質問について対応相談できる
	Web 履修科目登録	・学科別履修ガイダンスでの指導内容に基づき、自身で学修計画を修正する ・B-net で履修する科目の登録を行う
履修登録状況の確認	Web 履修科目登録エラー確認・修正	・指定日時以降に B-net で履修登録した科目にエラーがないかを確認する ・エラー修正や科目変更は、期限までに B-net で履修科目登録修正を行う ・自身で登録した科目と相違なく、エラー表示もなければ履修登録完了!
履修登録の完了	—————	・履修登録した授業に出席することができる ・授業教室は B-net で確認することができる

オリエンテーション期間中の行事日については、別途B-netにてお知らせします。秋学期のオリエンテーション期間中に実習等(公欠)の期間が含まれる場合は、別途指示される内容にしたがうようにしてください。ただし、公欠に該当しない理由でのオリエンテーション行事欠席については、一切認められません。したがって、欠席による不利益については、各自の責任となりますので、スケジュール管理には充分に注意してください。

## 履修登録の留意事項

履修登録を行う前には、学修計画が必要不可欠です。

履修登録する科目によってはクラス指定をはじめ、制限や条件があるものもあり、注意が必要です。以下は、履修登録に必要な基礎知識として、各事項を説明しています。卒業までの間違いのない学修計画のため、必ず理解するようにしてください。

なお、講義の内容については、履修登録前にシラバスにて確認することが必要です。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

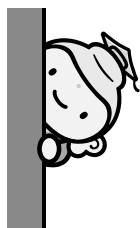
作業

看護

その他

VIII

規程



開講科目と授業科目

学期中に、授業を受けている間の科目名称は、「開講科目」が用いられます。授業が終了し、単位修得したものが成績表に記載されるのは「授業科目」となります。

(凡例)

授業科目：佛教大学概論 1  
開講科目：佛教大学概論 1 Ha

授業科目の後ろに文字や数字が付加される。

- ① Hは、春学期に開講する科目
- ② aは、aクラスを示します。

①	開講学期	付加される記号
	春学期	H
	秋学期	A
	集中	S

開講科目には開講学期が必ず付加されますが、クラスは付加されない場合があります。

② クラスは、数字やアルファベット等があるので留意してください。

履修科目表

履修する科目(授業科目)を記載したものが「履修科目表」(p.52~)です。履修科目表には、系列区分、**授業科目**、その科目の**単位数**(単位)、**科目の分類**(必修・選択・自由別)、**履修登録開始時期**(履修開始セメスター)、**GPAの算出対象となるか**、そして**卒業するために必要な要件**(備考)が記載されています。

※ GPA 制度については、「GPA 制度」(p.43 ~)を参照

履修登録の手続き

履修登録上限単位数

年間の履修登録上限

年間の履修登録上限単位数は、以下のとおり定められています。また、各学期の履修登録上限単位数は、その2分の1です。

所属学部	年間登録上限
保健医療技術学部・看護学部	50 単位

※いずれかの学期のみ26単位まで履修登録することができます。

その場合、他方の学期は24単位までとなります。



**注意！**

第1学年では「共通教養科目」について、履修登録できる単位数に上限があります。



**注意！**

通年集中講義科目は春学期に履修登録を完了させること！

第1学年次の履修登録上限

「共通教養科目」について履修登録できる単位数に上限があります。

学年	セメスター	共通教養科目の上限		自己形成科目群
		必修外国語	選択外国語※	
1	第1セメスター	2単位	1 (2) 単位	4単位
	第2セメスター	2単位	1 (2) 単位	4単位

※選択外国語において2単位科目を履修登録する場合は、上限を2単位とします。

通年集中講義の履修登録取り扱い

- ・通年集中講義の履修登録は、春学期に行います。
- ・履修登録上限単位数の計算において、通年集中講義の単位数は、春学期（1セメスター）の履修登録上限単位数を超えて履修登録することができます。ただし、年間の履修登録上限単位数を超えることはできません。

履修登録できる単位数上限

学年	春学期登録上限	秋学期登録単位【上限26単位】	年間登録上限
1	26単位+通年集中講義単位	50単位-(春学期登録単位)	50単位
2	26単位+通年集中講義単位	50単位-(春学期登録単位)	50単位
3	26単位+通年集中講義単位	50単位-(春学期登録単位)	50単位
4	26単位+通年集中講義単位	50単位-(春学期登録単位)	50単位

履修登録上限単位数に含めないもの

- 以下のものは、履修登録上限単位数の計算から除外します。
- ・自由科目
  - ・共通教養科目「キャリア実習」「キャリア実習（教職）1・2」
  - ・「大学コンソーシアム京都」における単位互換授業の単位
  - ・短期海外語学研修によって認定される単位
  - ・本学通信教育課程での併修履修科目の単位

抽選希望登録

抽選対象科目は、所定の期間に、抽選希望登録が必要です。抽選結果は履修登録時に画面に表示されます。

抽選結果により、定員に余裕がある場合は、追加で先着順にて受付します。

※スポーツ実技は、一部の科目を除き、紫野キャンパスで実施しますので、キャンパス間の移動時間を考えて履修登録してください。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

**注意!**

第1学年における必修外国語の単位修得できなかった科目の再履修は、**第2学年以降**となります。

**再履修について**

再履修とは、履修登録を行ったが、単位修得できなかった（不合格）科目を再度履修登録することです。

クラス指定のある科目については、「再履修」と指定されている科目を履修登録してください。「再履修」についての指定がない科目を再履修する場合は、任意の科目を履修登録してください。

ただし、履修登録上限が設定されている**第1学年においては、春学期に不合格となった必修外国語を秋学期に再履修することはできません。第2学年以降での再履修となりますので注意してください。**

**履修登録状況の確認**

オリエンテーション期間中の「Web履修科目登録エラー確認・修正」指定期間に、履修登録を行った科目が正しく登録されているか、またエラー表示の有無の確認が必要です。

「Web履修科目登録エラー確認・修正」指定期間以外での修正はできませんので、各自責任を持って手続きを行ってください。

**エラーがない／履修科目の変更がない場合**

履修登録を行った科目が正しく登録されている場合、履修登録の完了となります。

**エラーがある／履修科目の変更がある場合**

正しく登録されていない場合のエラーおよび登録間違いについては、オリエンテーション期間中の「Web履修科目登録エラー確認・修正」指定期間に登録修正が必要です。

**履修登録の完了**

履修登録および登録修正によって履修登録を確定すると履修登録の完了となり、授業へ出席することができます。

したがって、正しく履修登録が完了していないと授業へ出席、課題提出、定期試験を受験しても履修者としてみなされず、単位認定も行われません。

※正しく履修登録が完了しているのか、必ずB-netの学生時間割表より確認してください。

## 履修取消し制度

「授業内容が想定していたものと異なっていた」、「授業についていけないだけの知識が不足していた」など、そのままでは単位を修得することが難しいと判断した場合、履修取消し期間内であれば、履修登録を取消することができます。

ただし、履修登録の取消しができる科目は、選択科目とし、**必修科目および自由科目は原則として履修取消しできません**。また、履修取消しができない授業科目を一部設定します（GPA算出の対象外となる諸資格科目等）。なお、履修登録後に当該 Semester に休学の申し出があった場合は、原則として当該 Semester の授業は、履修取消し扱いとします。

### 履修取消しの申請手続き

申請期間：授業期間開始より7週目終了後から原則5日間

申請方法：学生支援課より、B-netにてお知らせします。

※通年集中講義等、通常の授業期間に授業が行われない科目については、開講初日の翌日の正午までに学生支援課へ申し出てください。

### 〔注意事項〕

履修取消し期間以外の申請は原則認めませんが、病気等のやむを得ない事由で、履修取消しの申請ができなかった場合は、申請期間外であっても履修取消しを認めることがあります。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VII

規程

## 授業時間

授業は以下の時間帯で行います。

講時	1	2	3	4	5	6
時間	9:00 ~ 10:30	10:40 ~ 12:10	12:50 ~ 14:20	14:30 ~ 16:00	16:10 ~ 17:40	17:50 ~ 19:20

## 集中講義・実習

B-netの「学生時間割表」にて示される「集中講義」「実習」は特定の曜日講時で実施されない科目です。以下のいずれかに該当します。

## 1. 通年集中講義科目 (S)

表記方法	科目名 + S
開講時期	通年 ※授業カレンダーに記載されている通年集中講義期間（9月上旬）で多くは開講される。ただし、科目によっては異なるので、シラバス等必ず確認すること。
履修登録時期	春学期科目の履修登録と同じタイミング ※1
単位認定時期	秋学期科目の単位認定と同じタイミング

※1「履修登録できる単位数の上限（p. 25）」にある「通年集中講義単位」は、Sが付された科目を指します。

## 2. 個別の日程で行われる講義 (H・A)

表記方法	科目名 + H もしくは A
開講時期	履修登録した学期 ※一定の連続した期間や、不規則な日程で開講される。詳細な日程については、シラバスやB-netで通知されるので確認すること。
履修登録時期	各学期の履修登録と同じタイミング
単位認定時期	各学期の単位認定と同じタイミング

## 3. 遠隔授業 (H・A)

表記方法	科目名 + H もしくは A
開講時期	履修登録した学期 ※オンデマンド型の遠隔授業
履修登録時期	各学期の履修登録と同じタイミング
単位認定時期	各学期の単位認定と同じタイミング

## 4. 卒業論文／卒業研究／卒業レポート (H・A) ※対象学科のみ

表記方法	科目名 + H もしくは A
開講時期	履修登録した学期
履修登録時期	4年生8セメスターで、各学期の履修登録と同じタイミング ※4年生ゼミとは別に必ず履修登録が必要です。
単位認定時期	各学期の単位認定と同じタイミング

## 休 講

本学または担当者（教員）にやむを得ない事情が発生した場合には、授業を休講することがあります。休講になる科目については、B-netの「休補講・教室変更」にて連絡します。

休講掲示がなく、20分経過しても授業が行われない場合は、必ず事務局窓口に連絡し、その指示にしたがってください。なお、**自動的に休講とはなりません。**

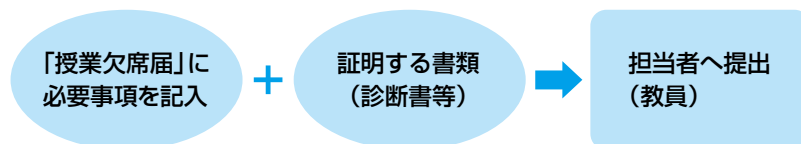
## 補 講

補講とは、休講により授業日数が不足する場合や授業が予定の範囲まで終了しなかった場合に、それを補うために行う授業です。実施する場合は、所定の補講日（授業カレンダー参照）に行い、詳細はB-netにてお知らせします。

## 授業欠席

病気または事故等により授業欠席した場合は、所定の「授業欠席届」（巻末にあるものを複写して使用、またはB-netよりダウンロードして印刷）に必要事項を記入し、欠席事由を証明する書類（診断書等）を添えて、担当者（教員）へ届け出てください。

なお、「授業欠席届」は公欠として取り扱われるものではありません。



※学校感染症罹患時の取扱い（p.40）を、あわせて確認してください。

## 公 欠

公欠とは、カリキュラム上必要とされる実習等によって、やむを得ず授業を欠席しなければならない場合に適用されるものです。

しかし、公欠は出席としての扱いを保証されるものではありません。授業を欠席するという状況には変わらないので、**各自で担当者（教員）に授業欠席届を提出**のうえ、欠席した授業の振り返りを進めることはもちろん、担当者（教員）から課された学修にも必ず取り組みましょう。

なお、インターンシップ・課外活動・就職活動・ボランティア等は、公欠として取り扱いません。

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

## 理学療法学科の実習

臨床基礎実習

臨床評価実習

総合臨床実習 I

総合臨床実習 II

## 理学療法学科の実習

臨床基礎実習、臨床評価実習、総合臨床実習 I、総合臨床実習 II については、下記の点に留意し、履修してください。

## 実習日程（予定）

『臨床基礎実習』	第2学年の9月上旬の約2週間
『臨床評価実習』	第3学年の9月～2月の間の約4週間
『総合臨床実習 I』	第4学年の4月上旬から6月上旬まで
『総合臨床実習 II』	第4学年の6月上旬から8月上旬まで

## 実習実施資格

実施資格の判定は教授会にて行います。判定基準は以下のとおりです。  
なお、判定の結果については、大学より通知します。

## 1. 臨床基礎実習

実習開始までに  
次の条件を充足し  
てください。

授業科目	単位	条件
基礎解剖学	2	すべて履修済 (単位修得済)
基礎生理学	2	
基礎運動学	2	
理学療法評価学 I	2	

## 2. 臨床評価実習

実習開始までに  
次の条件を充足し  
てください。

授業科目	単位	条件
理学療法評価学 II	2	すべて履修済 (単位修得済)
理学療法評価学演習 I	1	
理学療法評価学演習 II	1	
運動療法学	2	
運動器系理学療法学	2	
中枢神経系理学療法学	2	
内部障害理学療法学 I	1	
神経筋障害理学療法学	1	
小児理学療法学	1	
日常生活動作学	1	

## 3. 総合臨床実習

総合臨床実習を登録するためには、専門科目のうち、履修開始セメスターが1～6である必修科目の単位をすべて修得していること。  
総合臨床実習 II の実施資格については、総合臨床実習 I の成績評価対象の見込みの者に限る（総合臨床実習 I において実習中止などで単位修得が出来ない状況にある場合は、総合臨床実習 II の履修登録を取り消す）。

## その他

- ・実習実施施設は、本学が決定します。
- ・実習は全日程出席しなければなりません。
- ・実習施設への委託費は本学が実習施設へ支払います。
- ・実習施設への交通費および、宿泊費が必要となるものは、自己負担となります。
- ・詳細は、事前に実施されるオリエンテーションにて説明しますので、必ず出席してください。
- ・その他、実施についての連絡事項は、B-net等にて指示します。

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

## 作業療法学科の実習

臨床見学実習

地域実習 I

臨床評価実習

総合臨床実習 I

総合臨床実習 II

地域実習 II

## 作業療法学科の実習

臨床見学実習、地域実習 I、臨床評価実習、総合臨床実習 I、総合臨床実習 II、地域実習 II については、下記の点に留意し、履修してください。

## 実習日程（予定）

『臨床見学実習』	第 1 学年の 8 月上旬もしくは集中講義期間の約 1 週間
『地域実習 I』	第 2 学年の 2 月中旬の約 1 週間
『臨床評価実習』	第 3 学年の 11 月下旬から 12 月中旬まで
『総合臨床実習 I』	第 4 学年の 4 月上旬から 6 月上旬まで
『総合臨床実習 II』	第 4 学年の 6 月上旬から 7 月下旬まで
『地域実習 II』	第 4 学年の 7 月下旬から 8 月上旬まで

## 実習実施資格

実施資格の判定は教授会にて行います。判定基準は以下のとおりです。  
なお、判定の結果については、大学より通知します。

## 1. 臨床評価実習

実習開始までに  
次の条件を充足し  
てください。

授業科目	単位	条件
作業療法評価学演習	1	すべて履修済 (単位修得済)
生活行為評価学演習	1	
感覚・運動系評価学演習	1	
精神・社会系評価学演習	1	
発達系評価学演習	1	
高次脳機能系評価学演習	1	

## 2. 総合臨床実習 I、総合臨床実習 II、地域実習 II

総合臨床実習 I、総合臨床実習 II、地域実習 II を登録するためには、専門科目のうち、履修開始セメスターが 1～6 である必修科目および選択必修科目の単位をすべて修得していること。

## その他

- ・実習実施施設は、本学が決定します。
- ・実習は全日程出席しなければなりません。
- ・実習施設への委託費は本学が実習施設へ支払います。
- ・実習施設への交通費および、宿泊費が必要となるものは、自己負担となります。
- ・詳細は、事前に実施されるオリエンテーションにて説明しますので、必ず出席してください。
- ・その他、実施についての連絡事項は、B-net等にて指示します。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VII

規程

## 看護学科の実習

コミュニティ実習

基礎看護学実習 I

基礎看護学実習 II

地域・在宅看護学実習

クリティカルケア看護学実習

慢性看護学実習

老年看護学実習

小児看護学実習

母性看護学実習

精神看護学実習

統合実践看護実習

以下、保健師課程履修者のみ

公衆衛生看護学実習 I

公衆衛生看護学実習 II

## 看護学科の実習

コミュニティ実習、基礎看護学実習 I、基礎看護学実習 II、地域・在宅看護学実習、クリティカルケア看護学実習、慢性看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、統合実践看護実習、公衆衛生看護学実習 I、公衆衛生看護学実習 II については、下記の点に留意し、履修してください。

## 実習日程（予定）

『コミュニティ実習』

第 1 学年の 7 月から 10 月までの期間内で 5 日間

『基礎看護学実習 I』

第 1 学年の 2 月の期間内で 1 週間

『基礎看護学実習 II』

第 2 学年の 8 月から 9 月までの期間内で 2 週間

『地域・在宅看護学実習』

第 3 学年の 10 月から 2 月までの期間内で 2 週間

『クリティカルケア看護学実習』

第 3 学年の 10 月から 2 月までの期間内で 3 週間

『慢性看護学実習』

第 3 学年の 10 月から 2 月までの期間内で 3 週間

『老年看護学実習』

第 3 学年の 10 月から 2 月までの期間内で 3 週間

『小児看護学実習』

第 4 学年の 5 月から 7 月までの期間内で 2 週間

『母性看護学実習』

第 4 学年の 5 月から 7 月までの期間内で 2 週間

『精神看護学実習』

第 4 学年の 5 月から 7 月までの期間内で 2 週間

『統合実践看護実習』

第 4 学年の 8 月から 10 月までの期間内で 2 週間

『公衆衛生看護学実習 I』 ※保健師課程履修者のみ

第 4 学年の 6 月から 7 月までの期間内の 1 週間

『公衆衛生看護学実習 II』 ※保健師課程履修者のみ

第 4 学年の 8 月から 9 月までの期間内の 4 週間

### 実習実施資格

実施資格の判定は、教授会にて行います。判定基準は次の「実習実施資格判定基準表」のとおりです。

なお、判定の結果については、大学より通知します。

各実習は、実習開始までに○のついた授業科目の単位を修得してください（※の科目は単位修得が必須ではなく、履修中であれば条件を満たす）。

実習実施資格判定基準表（1/2）

系列区分	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	実 習														
					コ ミュ ニ ティ 実 習	基 礎 看 護 学 実 習 I	基 礎 看 護 学 実 習 II	地 域 ・ 在 宅 看 護 学 実 習	ク リ テ ィ カ ル ケ ア 看 護 学 実 習	慢 性 看 護 学 実 習	老 年 看 護 学 実 習	小 児 看 護 学 実 習	母 性 看 護 学 実 習	精 神 看 護 学 実 習	統 合 実 践 看 護 実 習	公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 I 保 健 師 課 程	公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 II 保 健 師 課 程		
学科基礎科目	アカデミック・スキルズ	2	必	2															
	仏教看護	1	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基礎解剖学	2	必	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基礎生理学	2	必	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病理学概論	2	必	2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	栄養学	2	必	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	疾病論Ⅰ	2	必	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	疾病論Ⅱ	2	必	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	疾病論Ⅲ	2	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	疾病論Ⅳ	2	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	薬理学	1	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公衆衛生学	2	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会福祉	2	必	2														○	○
	保健医療福祉行政論	2	必	3														○	○
保健統計学	2	必	4														○	○	
学科専攻科目	看護学概論	2	必	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	看護実践基盤技術論	2	必	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フィジカルアセスメント技術	1	必	2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活行動援助技術論	2	必	2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	看護過程論	1	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	診療援助技術論Ⅰ	1	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	診療援助技術論Ⅱ	1	必	4				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基礎看護学実習Ⅰ	1	必	2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基礎看護学実習Ⅱ	2	必	3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コミュニティ実習	1	必	1				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域・在宅看護学概論	1	必	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域・在宅看護方法論Ⅰ	2	必	3				○				○	○	○	○	○	○	○	○
	地域・在宅看護方法論Ⅱ	1	必	5				○				○	○	○	○	○	○	○	○
	地域・在宅看護学実習	2	必	6								○	○	○	○	○	○	○	○
	クリティカルケア看護学Ⅰ	2	必	4						○			○	○	○	○	○	○	○
	クリティカルケア看護学Ⅱ	1	必	5						○				○	○	○	○	○	○
クリティカルケア看護学実習	3	必	6										○	○	○	○	○	○	
慢性看護学Ⅰ	2	必	4							○			○	○	○	○	○	○	
慢性看護学Ⅱ	1	必	5							○			○	○	○	○	○	○	
慢性看護学実習	3	必	6										○	○	○	○	○	○	
老年看護学概論	1	必	3								○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 単位修得見込み

公衆衛生看護学の選択科目は（公衆衛生看護方法論Ⅰを除き）保健師課程の学生が履修対象となる。

実習実施資格判定基準表 (2/2)

系列区分	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	実習																				
					コミュニティ実習 I	基礎看護学実習 I	基礎看護学実習 II	地域・在宅看護学実習	クリティカルケア看護学実習	慢性看護学実習	老年看護学実習	小児看護学実習	母性看護学実習	精神看護学実習	統合実践看護学実習	公衆衛生看護学実習 I (保健師課程)	公衆衛生看護学実習 II (保健師課程)								
学科専攻科目	老年看護方法論 I	2	必	4											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	老年看護方法論 II	1	必	5											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	老年看護学実習	3	必	6												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小児看護学概論	1	必	3																				○	○
	小児看護方法論 I	2	必	4												○							○	○	○
	小児看護方法論 II	1	必	5												○							○	○	○
	小児看護学実習	2	必	7																			*		
	母性看護学概論	1	必	3														○					○	○	○
	母性看護方法論 I	2	必	4														○					○	○	○
	母性看護方法論 II	1	必	5														○					○	○	○
	母性看護学実習	2	必	7																			*		
	精神看護学概論	1	必	3																			○	○	○
	精神看護方法論 I	2	必	4																			○	○	○
	精神看護方法論 II	1	必	5																			○	○	○
	精神看護学実習	2	必	7																			*		
	公衆衛生看護学概論	2	必	4																				○	○
	公衆衛生看護方法論 I	2	選	4																				○	○
	公衆衛生看護方法論 II	2	選	5																				○	○
	公衆衛生看護展開論 I	2	選	5																				○	○
	公衆衛生看護展開論 II	2	選	5																				○	○
	公衆衛生看護管理論 I	2	選	5																				○	○
	公衆衛生看護管理論 II	2	選	5																				○	○
	国際看護学	1	必	3																				○	○
	災害看護学	1	必	5																				○	○
	エンドオブライフケア論	1	必	5							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホリスティックケアアプローチ	1	必	5							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	看護研究 I	1	必	7																			*		
看護疫学	2	選	4																				○	○	

※ 単位修得見込み

公衆衛生看護学の選択科目は（公衆衛生看護方法論 I を除き）保健師課程の学生が履修対象となる。

その他

- ・実習実施施設は、大学が決定します。
- ・実習は、全日程出席しなければなりません。
- ・実習施設への委託費は、大学が実習施設へ支払います。
- ・実習施設への交通費および、宿泊費が必要となるものは、自己負担となります。
- ・詳細は、事前に実施されるオリエンテーションにて説明しますので、必ず出席してください。
- ・その他、実施についての連絡事項は、B-net等にて指示します。

## 試験の種類

## 定期試験

教室試験（筆記試験等）やレポート試験があります。

## 追試験

正当な事由で定期試験を受験できなかった場合、実施される試験です。  
 ※定期試験に合格しなかった場合の救済措置として実施する試験ではありません。  
 ※受験希望する場合は、手続き等（p.38）が必要です。

## 定期試験について

定期試験は、「シラバス」に定期試験（教室 or 課題）の記載がある授業において Semester ごとに行われます。定期試験の実施方法には、教室試験（筆記試験等）、レポート試験があります。

また、定期試験の実施方法は、定期試験期間の開始 1 ヶ月前頃に、時間割は開始 1 週間前頃に B-net にてお知らせします。

原則として、授業の曜日・講時と同一の曜日・時限で実施されますが、授業時間割とは異なる曜日・時限で実施される場合がありますので注意してください。

## 受験資格

次の事項に該当する場合は、受験資格がありません。

- 1 学生証または仮学生証を携帯していない場合
- 2 履修登録していない場合
- 3 科目の総授業日数の 3 分の 1 以上欠席した場合
- 4 学費未納の場合

## 教室試験

## 1. 定期試験時間

定期試験は、以下の時間帯に60分間で行います。

講時	1	2	3	4	5	6
時間	9:00 ~ 10:30	10:40 ~ 12:10	12:50 ~ 14:20	14:30 ~ 16:00	16:10 ~ 17:40	17:50 ~ 19:20



## 注意！

試験実施時間は、通常授業の時間と異なります。

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程



注意！

## 不正行為厳禁！

たった一つの不正行為でも、当該学期に履修登録した全ての科目が無効となることがあります。

## 2. 受験上の注意

- 1 試験会場（教室）は当日、B-net で確認してください。
- 2 試験会場では必ず「学生証」を机上の通路側においてください。  
携帯していない場合は、試験開始前に事務局窓口で「仮学生証」の発行を受けてください。  
ただし、「仮学生証」は発行日のみ有効（当日返却が必須）で、毎回手数料（300円 現金のみ）が必要です。
- 3 試験会場では、所持しているスマートフォン等通信機器の電源を切り、カバンの中に片付けてください。時計としての代用はできません。
- 4 試験開始後 30 分（30 分 00 秒）以降退出することができます。
- 5 試験会場では、試験監督者の指示にしたがってください。
- 6 試験の遅刻は、20 分（20 分 59 秒）を経過すると、いかなる理由があっても入室できません。
- 7 次の場合は不正行為とみなし、学則により処分を行い当該学期に履修登録した科目の一部もしくは、全てが N 評価（無効・評価対象外）となります。
  - a) 私語や態度について注意を与えても改めないとき。
  - b) 許可なくして物品や教科書・ノートを貸借したとき。
  - c) 許可された以外のものを参照したとき。
  - d) 身代わり受験をおこなったとき。または、おこなわせたとき。
  - e) その他、試験監督者の指示に直ちにしがわれないとき。

## 参照条件について

定期試験の受験に際して、自筆ノート、テキスト、参考文献等の持ち込み等が許可または指示される場合があります。それらについては「参照条件」として定期試験前に発表されます。

各々の注意点を下記のとおり認識しておくことが必要です。万一、認識を誤ると不正行為とみなされるので充分注意してください。

## 「自筆ノート」とは？

- OK!** : 自分で書いたノートのことです。
- NG!** : 他人のノートをコピーしたもの、資料やコピーを貼り付けたノート、パソコン等で作成されたノート、または自分で書いたノートのコピー等も含め一切認められません。

## 「テキスト・参考文献」とは？

- OK!** : シラバスに記載されたもの（担当者によって指定されたもの）。
- NG!** : シラバスに記載のないもの。  
自身の判断による指定外のもの。

※参照条件の発表後、不明点がある場合は、試験実施までに直接担当者（教員）に確認してください。

## レポート試験

レポート試験の課題・提出期限等は定期試験期間の開始2週間前頃までにGoogle Classroom（以下、Classroom）に掲載されます。

レポートの提出方法は①Classroomでの提出、②担当者（教員）に直接提出のいずれかとなります。出題時の指示に従い、期限内に提出してください。

### Google Classroom とは

ClassroomはGoogle社のオンライン授業システムです。「Gmail」や「Googleドライブ」などと連携しており、課題の提出や質問といった機能を備えたツールです。佛教大学のアカウントでログインしてください。

B-net「お気に入り」からマニュアルをダウンロードできますので、事前に確認しておいてください。

### レポート作成時の注意事項

レポート作成にあたって、活字媒体・Webサイト・生成AI等に公開された著作物を引用であることを明記せずに無断使用をしてはいけません。なお、盗用・剽窃行為（他人の作品や論文を盗んで、自分のものとして発表すること）が発覚した場合、学則により、処分（当該学期の全履修科目の成績が不合格または特に悪質な場合は学則に基づく懲戒）の対象となることがあります。処分対象は提供した者、および提供を受けた者双方となります。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VII

規程

## 追試験について

正当な事由で定期試験を受験できなかった場合、願い出により欠席の妥当性が承認された場合に限り、追試験を受験することができます。

なお、寝過ごし、交通機関への乗り遅れ、自転車・バイク等の故障等自己の責任による事由、および自己判断による自宅療養等により医師の診断書等がない場合は、追試験受験許可事由とはなりません。

また、受験資格は定期試験の受験資格に準じます。正当な事由と手続き方法は次のとおりです。

## 1. 追試験受験許可事由

事 由	添付する書類	受験許可対象期間
公欠に該当する 実習等	添付書類不要	実習期間および実習地への往復に要すると判断される期間
交通機関の遅延	当該の交通機関が発行した遅延証明書を添付	遅延した当日限り
病気又は傷病	安静加療を要し、登校不能な状態である旨を明記した医師の診断書を添付	診断書に記載された期間
忌引き	3親等までの親族に限る。死亡に関する証明書（会葬礼状等日時が明示されたもの）を添付	7日以内とする（3親等の場合は3日）。帰省等のための往復に要する期間を含む
自己の責任によらない不慮の事故または災害	公共機関が発行する事故証明書または罹災証明書を添付	必要として認める期間
進路に関する試験 ※任意参加のセミナー等は不可	就職先・進学先等の証明書（受験票の写し等日時が明示されたもの）を添付	必要として認める期間
その他	本学がやむを得ないと認める場合は、指定する証明書を添付	必要として認める期間

## 2. 手続き

- 欠席した当該科目試験終了後、指定された期日以内に、指定された方法（詳細はB-netにてお知らせ）にて必要事項を入力し、証明する書類（診断書等）を添えて、試験欠席届を申請してください。
- 学生支援課より指定された日時に受験の可否確認をしてください。
- 受験を許可され追試験を受験する場合は、受験手数料（1科目500円）の納入が必要です。ただし、公欠もしくは、学校感染症罹患（p.40）による欠席（診断書提出必須）に該当する場合の受験手数料と手続き日の来校は不要です。
- 追試験日は「学年暦」により定められています。その日に受験できない場合は、事由のいかんに関わらず、当該科目の受験資格を失います。

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

交通機関の不通、特別警報もしくは暴風警報発令時における授業および定期試験の取り扱いは、次のとおりです。

### 休講および定期試験休止

次の1～3のいずれかの状況が発生した場合は、ただちに休講および定期試験の休止とします。

- 1 交通機関の不通の場合（aまたはbのいずれかの条件を満たす場合とします）
  - a) 京都市営バスと地下鉄が同時に全路線・全区間で不通
  - b) 下表の4交通機関（JR・阪急・京阪・近鉄）のうち、2交通機関の指定区間において、全てまたは一部が不通

交通機関	指定区間(路線)
J R ※JRの指定区間（5路線）において複数路線が不通となった場合でも、1交通機関とする。	京都～米原（琵琶湖線）
	京都～大阪（京都線）
	京都～堅田（湖西線）
	京都～奈良（奈良線）
	京都～園部（嵯峨野線）
阪 急	京都河原町～大阪梅田（京都線）
京 阪	出町柳～淀屋橋（京阪本線）
近 鉄	京都～奈良（京都線・奈良線）

- 2 京都府南部（南丹・京丹波、京都・亀岡、山城中部、山城南部のいずれか）に特別警報もしくは暴風警報（大雨・洪水・大雪警報は対象外）が発表された場合
- 3 その他の状況において、休講および定期試験を休止することが適切であると学長が認めた場合

### 休講の解除および定期試験休止の解除

交通機関の運行再開および特別警報、暴風警報解除の場合は、下表のとおり取り扱います。

運行再開または警報解除の時刻	授業・定期試験の取り扱い
午前 6 時30分まで	1 講時から実施
午前 10時00分まで	3 講時から実施
午前 10時01分以降	終日休講／休止

### その他の事項

- 1 授業中もしくは定期試験の実施中に、特別警報、暴風警報等が発表された場合は、その都度、警報の緊急性および交通機関の運行状況等を考慮の上、休講および定期試験の休止の実施時刻を指示します。
- 2 上記以外で、自身の居住地域に係る交通機関の不通および特別警報もしくは暴風警報等が発表された場合は自身の判断で安全確保に努め、欠席については、後日「授業欠席届」を担当者（教員）へ届け出てください。
- 3 「特別警報」が発表された場合、ただちに命を守る行動をとってください。



#### 注意！

警報は特別警報、暴風警報が対象です。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 学校感染症罹患により欠席した授業・試験の取り扱い

学校保健安全法施行規則第18条・19条に基づき、下表の学校感染症に罹患した場合は、医師の指示に従い静養に努めてください。

治癒後、医師の診断書等を学生支援課へ提出し受理された場合、公欠と同様の扱いと証明できる「欠席事由確認証（感染症）」が、交付されます。

但し第3種、その他の感染症に関しては、医師より登校禁止を指示された場合に限りです。

分類	感染症の種類
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、特定鳥インフルエンザ、指定感染症
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん（三日はしか）、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎（はやり目）、急性出血性結膜炎、その他の感染症 [溶連菌感染症（しょうこう熱）、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）、ヘルパンギーナ（夏かぜ）、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎、流行性嘔吐下痢症など]

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、第1種の感染症とみなす。

## 欠席の連絡方法について

## 静養を要する期間に出席できなかった授業

「授業欠席届」（p.29 参照）に「欠席事由確認証（感染症）」、診断書等を添えて、当該の開講科目担当教員に提出してください。

## 静養を要する期間に出席できなかった試験（定期試験）

「試験欠席届」（p.38 参照）に「欠席事由確認証（感染症）」、診断書等を添えて、学生支援課に提出し、追試験の手続きを行ってください（この場合追試験受験手数料と手続き日の来校は不要です）。

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科



## ポイント！

## 「成績証明書」

大学が対外的に発行するもので、就職先または他の研究機関等への提出等に使用するものです。

## 成績

成績評価は、シラバスに記載された成績評価の基準に基づいて行われます。評価は以下の通りです。

「成績証明書」には合格科目のみが記載され、評価はS、A、B、C、認定のみが記載されます。

なお、単位認定は学期末となります。

点数	成績通知書の表示	成績証明書の表示	評価の基準	判定
100～90	S	S	到達目標をほぼ完全に達成しており、極めて優秀な成績を修めている	合格
89～80	A	A	到達目標を十分に達成し、優秀な成績を修めている	
79～70	B	B	不十分な点があるが、到達目標を相応に達成している	
69～60	C	C	到達目標の最低限は満たしている	
59～0	D	表示されない	到達目標を達成できていない 単位を与えるためにはさらに学修が必要である	不合格
未受験	X		定期試験未受験、レポート試験未提出、などの場合	
評価対象外	N		評価対象外などの場合	
認定	認定	認定	※入学前に修得した単位が認定されたもの、および入学後に他大学等において修得したもの	合格
履修取消	—	表示されない		

## 成績の確認

成績は、次学期オリエンテーション1週間前を目途にB-netにて確認することができます（成績の開示日は、B-netにてお知らせします）。なお、春学期に履修登録を行う集中講義科目の成績確認は、秋学期の扱いとなります。

## 成績に関する調査申請（成績疑義）について

開示された成績について正当でないと考えられる場合、調査依頼を申請することができます。

## 申請について

申請期間・方法については、B-netにてお知らせします。

## ※注意事項※

申請によって**成績が変更されることを保証するものではありません。**

申請前には、自身に過失がないか、本当に成績に疑問があるのかを十分に確認してください。

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

佛教大学以外で  
単位を修得  
できる制度

## VIII

規程

## 申請に対して、よくある担当者からの回答

- ・ 授業に出席していない（全体の1/3以上欠席している）。
  - ・ 提出された課題が、ほとんど引用（書籍、インターネットからコピー&ペースト等）で作成されていた。
  - ・ 提出された課題が、他人のものを一部又は全て複写。
  - ・ 授業中に指示した課題が提出されていない。
  - ・ 試験の答案が授業中の指示事項に従っていない。
- 以上の点、十分留意してください。

## 単位互換制度の単位認定

（財）大学コンソーシアム京都「単位互換制度」において修得した単位は、8単位を上限として、共通教養科目の単位として認定します。

ただし、第4学年次において修得した単位は、卒業所要単位として認定することはできません。「単位互換制度」については、p.83を参照してください。

## 通信教育課程との併修履修による単位認定

「免許併修」の場合、通信教育課程で修得した単位は、通学課程の自由科目として認定します（卒業要件には算入できません）。認定の時期は学期末となります。

「免許併修」については、p.86を参照してください。

## 他の大学・短期大学で修得した単位の認定

他の大学・短期大学に在籍（卒業・中退不問）し、単位の修得がある場合、それらが本学の単位として認定される場合があります。

該当する学生は、以前に在籍していた大学・短期大学の成績証明書を取り寄せ、学生支援課窓口まで申し出てください。

なお、単位の認定にともない、履修方法が通常と異なる場合があります。オリエンテーション中に所属学科および事務局窓口の指導を必ず受けてください。

## GPA 制度

GPA (Grade Point Average) 制度とは、科目ごとの成績評価からそれぞれのグレードポイント (GP) を求め、単位あたりの平均値を算出したものです。学期ごとおよび在籍期間中の通算のGPAを成績通知書、成績証明書に記載します。

このGPA制度の導入によって、学期ごとの学修成果と推移がより明確となり、さらに細やかな学習指導への活用と、学習意欲の向上、無理な履修計画や安易な履修登録の自己規制につながることを目的として導入しています。

本学の成績評価とグレードポイント (GP) との関係は次のとおりです。

点数	成績評価	GP
100～90	S	4
89～80	A	3
79～70	B	2
69～60	C	1
59～0	D	0
未受験	X	0
評価対象外	N	0
認定	認定	対象外
履修取消	—	対象外

### GPA (Grade Point Average) の算出方法

履修した科目の成績評価を上記のGPに置き換え算出します。算出方法については次のとおりです。

$$\text{学期 GPA} = \frac{(\text{当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数})\text{の総和}}{\text{当該学期の履修科目の総単位数}}$$

$$\text{通算 GPA} = \frac{(\text{全学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数})\text{の総和}}{\text{全学期の履修科目の総単位数}}$$

※計算値は小数点以下第3位を四捨五入して表記

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## GPA 算出科目と算出除外科目について

履修登録したすべての科目をGPAの算出対象科目とします。ただし、次にあげる①から⑤に該当する場合、GPA算出除外科目とします。

- ①履修取消しを申請した科目
- ②「履修科目表」の「GPA対象」欄に「×」の記載がある科目
- ③自由科目（卒業要件対象外）
- ④入学及び編入学前、又は転学部転学科前に修得し、各学部学科で単位認定された科目  
※転学部転学科した学生で卒業要件として成績移行した科目は 算出対象科目となります
- ⑤他大学等で履修（単位互換協定に基づく授業科目含む）し、各学部学科で単位認定された科目

なお、GPA算出対象科目は不合格となった場合でも、算出対象となります。したがって、自らの履修（履修登録を含む）に対して、より真剣に取り組むことが求められます。

## 学修ポートフォリオについて

本学では、学生一人ひとりが自らの学修を主体的に振り返り、今後の学びにつなげていくことを目的として、「学修ポートフォリオ」を活用しています。

学修ポートフォリオとは、授業科目の履修状況や学修成果、自己の振り返りなどを記録・蓄積し、自身の成長過程を可視化するための仕組みです。これにより、これまでの学びを整理し、自身の強みや課題を認識するとともに、今後の学修計画や進路を主体的に考えるようにすることができます。

また、学修ポートフォリオは、教員との面談や指導の際に活用し、一人ひとりの状況に応じた学修支援を行うための重要な資料となります。大学生生活を通じて学修ポートフォリオを継続的に活用し、自己の成長を振り返りながら、充実した学びの実現に向けて活用してください。

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

## 卒業所要単位と要件

本学が定める基準上、大学を卒業する（学士の取得）ためには、4年以上在学（休学期間を除く）し、卒業要件に定められた合計124単位を修得しなければなりません。

卒業に必要な科目の系列区分は以下のようなイメージです。

共通教養科目	20 単位 まで	} 卒業所要単位 124 単位以上
専門科目 ・学部基幹科目 ・学科基礎科目 ・学科専攻科目 ・関連科目	104 単位 以上	

ただし、学科ごとに詳細が異なりますので、必ず自身の学科の卒業所要単位と要件を確認し、履修計画を立ててください。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程



## 注意！

卒業可否、成績に関する  
問い合わせは、窓口（対  
面）以外できません。  
本人、保証人に関わらず  
電話での問い合わせに  
は、一切答えられません。

## 卒業所要単位充足者発表

卒業所要単位充足者発表は、各学部教授会で、卒業が認められた学生（卒業所要単位充足者）を発表します。

該当者は、卒業式において卒業証書・学位記が授与され、所定の学士の学位を取得することになります。

なお、取得予定の教育職員免許状・資格の単位が充足されていない場合であっても、卒業所要単位が充足した場合は、卒業となります。

卒業に係わる日程、手続きの詳細については、下表のとおりB-netにてお知らせします。

卒業する月	詳細のお知らせ時期（予定）
9月	6月中旬
3月	12月中旬



## 詳細のお知らせ（予定内容）

## 1. 発表日時

具体的な日時をB-netにてお知らせします。

## 2. 発表方法

B-netでの発表

※発表は、卒業単位充足者の学籍番号のみの表示とします。

## 3. 単位を充足した場合

- ・卒業証書授与式へ出席してください。  
※式典当日の欠席は、事前に窓口まで申し出てください。
- ・「進路決定届」未提出者は、卒業証書授与式までに事務局窓口へ提出が必要です。

## 4. 単位を充足しなかった場合

発表時に別途指定する会場にて説明を受けてください。

※再試験が許可され、受験を希望する場合は、次頁を確認してください。



## 注意！

指導日時については、B-netでお知らせします。再試験を受験するためには、手続きが必要です！

## 再試験（卒業）

再試験とは、最終学年における3月または、9月卒業予定者で当該年度に履修登録した授業科目の内、4科目以内を合格すれば卒業の要件を充たす場合のみ、学部教授会の議に基づき実施される試験です。ただし、次の各号に該当する科目は、再試験の対象となりません。

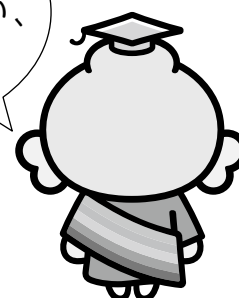
- (1) 定期試験を受験しなかった科目（評価：X）
- (2) 出席不良等により評価対象外となった科目（評価：N）

なお、該当者への通知は行いません。卒業所要単位充足者発表時に各自指導を受け、所定の手続きを行ってください。手続きには1科目5,000円を受験手数料が必要となります。

また、所定の手続きを行わない場合、再試験を受験しなかった場合は、いかなる理由においても当該科目の受験資格を失い、不合格となり、卒業することができません。

再試験の可否発表は、B-netにてお知らせします。また、電話、メール等でのお問い合わせにも答えられませんので、この時期の帰省、旅行、合宿等の日程調整には十分留意してください。

再試験を受けなくても良い、学修計画を！



I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程



## Ⅲ. 教育課程

共通教養科目 P.51

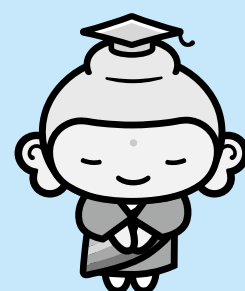
専門科目 P.54

大学コンソーシアム京都「単位互換制度」 P.83

短期海外語学研修 P.84

派遣留学・交換留学 P.85

通信教育課程との併修履修制度（「免許併修」） P.86



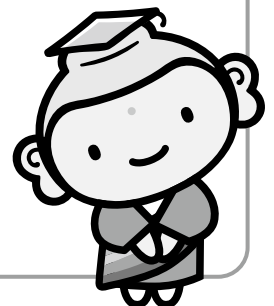


Ⅲ章を読んで、科目の特性などについて大事なポイントを確認しましょう。

1. 卒業をするには、卒業所要単位を充足させる必要がある。  
合計（        単位）以上必要である。
2. 共通教養科目は（        単位）まで卒業所要単位として含む。
3. 専門科目は（        単位）以上必要である。

…上記1～3については、各学科の卒業所要単位と要件の頁、および p. 52、53 参照

MEMO



対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

## 外国語科目履修の注意点

【必修外国語】  
「英語」

「英語」を6科目6単位修得すること。

## 必修外国語科目が不合格(単位未修得)となった場合の履修登録(再履修)

第2学年以降に任意(再履修)のクラスを登録すること。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

※各学科の専門科目の「卒業所要単位と要件」を併せて確認すること。

共通教養科目 履修科目表 (1/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択		履修開始 セメスター	GPA 対象	卒業所要単位			
			必修	選択			小計	中計	大計	
仏教・自校 教育科目群	ブツダと法然	2	必		1		2単位	2単位		
	佛敎大学の理念と歴史	2		選	1		0単位以上	0単位以上		
必修外国語	IntensiveReading1	1	必		1		6単位	小計を 満たし 6単位以上	小計・中計を 満たし20単位  ※卒業所要単位 には20単位まで しか算入で きません	
	IntensiveReading2	1	必		2					
	IntegratedCommunicationSkills1	1	必		1					
	IntegratedCommunicationSkills2	1	必		2					
	IntegratedCommunicationSkills3	1	必		3					
	IntegratedCommunicationSkills4	1	必		4					
	選択外国語	GeneralEnglish1	1		選	1				0単位以上
		GeneralEnglish2	1		選	1				
		CommunicationSeminar1	2		選	1				
		CommunicationSeminar2	2		選	1				
		EnglishLecture1	2		選	1				
		EnglishLecture2	2		選	1				
		初級英語会話1	1		選	1				
		初級英語会話2	1		選	1				
		Skill-building (TOEIC500) 1	1		選	1				
		Skill-building (TOEIC500) 2	1		選	1				
Skill-building (TOEIC600) 1		1		選	1					
Skill-building (TOEIC600) 2		1		選	1					
中国語		初級中国語1	1		選	1				
初級中国語2		1		選	1					
中級中国語		1		選	1					
韓国語		初級韓国語1	1		選	1				
初級韓国語2	1		選	1						
中級韓国語	1		選	1						
ドイツ語	初級ドイツ語1	1		選	1					
初級ドイツ語2	1		選	1						
中級ドイツ語	1		選	1						
フランス語	初級フランス語1	1		選	1					
初級フランス語2	1		選	1						
中級フランス語	1		選	1						
ベトナム語	初級ベトナム語1	1		選	1					
初級ベトナム語2	1		選	1						
中級ベトナム語	1		選	1						
国際教養	異文化への扉 一多文化共生のための外国語一	2		選	1		0単位以上	0単位以上		
	地球人になろう ーグローバルゼーションと文化ー	2		選	1					
	英語圏の暮らし	2		選	1					
	アジアの暮らし	2		選	1					
	日本事情	2		選	1					
海外研修	海外語学研修 (英語) A	2		選	1	×	0単位以上	0単位以上		
	海外語学研修 (英語) B	2		選	1	×				
	海外語学研修 (英語) C	2		選	1	×				
	海外語学研修 (英語) D	2		選	1	×				
	海外語学研修 (英語) E	2		選	1	×				
	海外語学研修 (英語) F	1		選	1	×				
	海外語学研修 (英語) G	1		選	1	×				
	海外語学研修 (中国語) A	2		選	1	×				
	海外語学研修 (中国語) B	2		選	1	×				
	海外語学研修 (中国語) C	2		選	1	×				
	海外語学研修 (中国語) D	1		選	1	×				
	海外語学研修 (中国語) E	1		選	1	×				
	海外語学研修 (韓国語) A	2		選	1	×				
	海外語学研修 (韓国語) B	2		選	1	×				
	海外語学研修 (韓国語) C	2		選	1	×				
	海外語学研修 (韓国語) D	1		選	1	×				
	海外語学研修 (韓国語) E	1		選	1	×				
	海外語学研修 (ベトナム語) A	2		選	1	×				
	海外語学研修 (ベトナム語) B	2		選	1	×				
	海外語学研修 (ベトナム語) C	2		選	1	×				
海外語学研修 (ベトナム語) D	1		選	1	×					
海外語学研修 (ベトナム語) E	1		選	1	×					

共通教養科目 履修科目表 (2/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修 必修	選択 選択	履修開始 セメスター	GPA 対象	卒業所要単位				
							小計	中計	大計		
データサイエンス 群	ICTリテラシー	2	必		1		2単位	小計を 満たし 2単位以上			
	データサイエンスの基礎を学ぶ	2		選	2		0単位以上				
	データサイエンスの基礎を实践する	1		選	2						
	統計学の基礎を学ぶ	2		選	1						
科初年 目次 教育 群	プログラミングを学ぶ	2		選	1			0単位以上	小計を 満たし 4単位以上		
	スタディ・スキルズ	2	必		1						
	キャリア・スキルズ1	1	必		1						
	キャリア・スキルズ2	1	必		2						
	数学の基礎とその活用	2		選	1						
	生体の科学Ⅰ (生物・化学)	2		選	1						
科キャリア 目 スタ 群	生体の科学Ⅱ (物理)	1		選	1		0単位以上	0単位以上			
	マイファーストキャリア	2		選	1						
	ライフ・キャリアデザイン	2		選	1						
	キャリア形成とマネジメント	2		選	1						
	自己表現とコミュニケーション	2		選	3						
	職業世界を知る	2		選	3						
	キャリア実習	2		選	3						
	キャリア実習 (教職) 1	4		選	3						
	キャリア実習 (教職) 2	4		選	5						
プロジェクト 科目群	プロジェクトA	2		選	3		0単位以上	0単位以上			
	プロジェクトB	2		選	3						
自己形成科目群	文化と芸術を学ぶ	日本の仏教芸術とその鑑賞	2		選	1	0単位以上	小計・中計を 満たし20単位  ※卒業所要単位 には20単位ま でしか算入で きません			
		ことばと文学	2		選	1					
		仏教の人間観と死生観	2		選	1					
		東洋と西洋における思想・哲学・宗教	2		選	1					
		前近代の世界・日本	2		選	1					
		近現代の世界・日本	2		選	1					
		世界の民族文化	2		選	1					
		世界の中の日本文化・京都文化	2		選	1					
	地域と社会を学ぶ	日本国憲法	2		選	1	0単位以上				
		世界と日本の政治	2		選	1					
		暮らしの中の経済	2		選	1					
		個人と社会の関係を考える	2		選	1					
		世界のニュースから見る日本	2		選	1					
		福祉と社会	2		選	1					
		情報・メディアと社会	2		選	1					
		教育事情を知る	2		選	1					
	人間と自然を学ぶ	文化の中から考える多文化共生	2		選	1	0単位以上				
		数学の言葉で世界を観る	2		選	1					
		宇宙を考える	2		選	1					
		生物の世界	2		選	1					
		自然と地理	2		選	1					
		生命を考える	2		選	1					
		エコロジーを考える	2		選	1					
		心の世界を考える	2		選	1					
	人間の仕組みと活動	2		選	1						
	スポーツ	病と人間の歩み	2		選	1	0単位以上			0単位以上	
		スポーツ理論	1		選	1					
	スポーツ実技	1		選	1						
大学コンソーシアム	大学コンソーシアム	2		選	1	×	0単位以上	0単位以上			

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 共通
- 理学
- 作業
- 看護
- その他
- VII 規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 保健医療技術学部 理学療法学科

## 理学療法学科の教育方針

## 人材養成の目的

理学療法学科は、多様な価値観や背景を持つ人々への思いやりや、信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指します。また、保健・医療に関する基礎知識と専門職としての実践能力を備えるとともに、より効果的な理学療法アプローチを追求するための研究的思考を身につけた人材の養成に努めます。さらに、自己研鑽を怠らない姿勢を備えた人材を育成します。

## ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- D1 保健・医療に関する基礎的な知識と、理学療法士としてそれらを適切に活用できる基本的な実践能力を身につけている
- D2 さまざまな対象者に対して、より効果的な理学療法アプローチを追求するために、研究的な思考に基づき隣接領域を含めた知見を収集・分析する能力を身につけている。
- D3 豊かな人間性、倫理観を持ち、保健・医療・健康に携わる者として多様な価値観や背景を持つ人々を思いやり共感できる
- D4 対象者やその家族ならびに連携する多職種と円滑なコミュニケーションをとる能力を身につけている
- D5 専門職としての役割を理解するとともに、関連する多職種と信頼関係を築き連携し、対象者の健康のために協働することができる
- D6 保健・医療の現場で直面する課題に関心を持ち、常に自己研鑽を怠らない姿勢を身につけている

以上に示す力を修得するとともに、佛教大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）および保健医療技術学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に示す力を修得した学生に対して学位（学士）を授与します。

## カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

## ＜教育課程の編成方針＞

理学療法学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定めた保健医療に関する知識・理解・汎用的技能などの力を修得できるように、学部基幹科目、学科基礎科目（基礎医学系科目、臨床医学系科目、基礎運動学など）、学科専攻科目（各疾患別の理学療法学など）、関連科目を順次性・体系性をもって教育課程（カリキュラム）を編成します。その際、カリキュラムの構造を分かりやすく示すだけでなく、科目の順次性、および科目内容の難易度については科目ナンバリングを、科目間の関連性やカリキュラムの構造についてはカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップなどのツールを提供し、学生が自らの学修目的にあわせて、カリキュラムの順次性と体系性、各科目の特性や内容、科目の開講時期（担当セメスター）などを考慮しながら主体的に履修できるよう配慮します。また学習方法については、学生が国家資格ならびにその他の資格取得などの自分の学修目的にあわせて教育課程の目的が十分に達成できるよう、講義、演習、実習、学外施設での臨床実習などを適切に組み合わせた科目を提供します。

## ＜教育課程実施の方針＞

- ①あらゆる人を社会の一員として理解するために、保健・医療に関する基本的な知識と、理学療法士として必要な基礎的な知識と技術を学べる科目として学部基幹科目、学科基礎科目「解剖学」「生理学」などの基礎医学系科目、「整形外科学」「神経内科学」などの臨床医学系科目、「基礎運動学」などを提供する
- ②さまざまな対象者の特性とニーズに対応した理学療法を実践できる力を身につけるために、各疾患別の理学療法ならびに「運動療法学」「物理療法学」「装具学」「義肢学」「日常生活動作学」などの理学療法技術を教授する学科専攻科目を設定する
- ③効果的な理学療法を目指して研究的思考を身につけるために学科基礎科目として「理学療法研究法」ならびに学科専攻科目として「理学療法研究法演習」を提供する
- ④保健・医療・健康に携わる者として求められる基本的な資質・能力を身につけ、人間性を涵養するための学科専攻科目として「臨床基礎実習」「地域理学療法学」を提供する
- ⑤基本的な理学療法の知識と技術を統合して、対象者や関係者とのコミュニケーションならびに多職種と連携する能力を身につけるための学外施設での臨床実習科目として「臨床評価実習」「総合臨床実習」を提供する
- ⑥専門性の発展や問題解決に貢献できる基盤をつくる学科横断プログラムを提供する

## ＜学修成果の評価方針＞

学修成果として修得した力や内容を評価するために、科目の特性に応じて、以下に示す評価方法を組み合わせて評価を行います。

- ①筆記試験による評価
- ②レポート試験による評価

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

- ③実技試験による評価
- ④授業への取組状況や授業内課題、提出物など、科目担当者が指定する方法による評価
- ⑤学科が定める学外臨床実習の評価（CBT:computer based testing, OSCE:客観的臨床能力試験等を含む）

### 理学療法学科の教育内容

#### 1年生

共通教養科目では、建学の精神に基づく科目や人間力の基盤をなすリテラシーに関する科目、語学に関する科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な学習能力の獲得を目指します。

アカデミックスキルを身に付ける「スタディ・スキルズ」や「アカデミック・スキルズ」は必修で、学修のための基礎力を身に付けます。学科基礎科目では「解剖学」、「生理学」など基礎医学を始め、「リハビリテーション医学概論」、「基礎運動学」、「理学療法評価学Ⅰ」など理学療法の基礎的な知識を習得します。

#### 2年生

本格的に専門科目の履修が進行します。学科基礎科目では「神経内科学」、「整形外科学」、「小児科学」など医療にかかわる専門科目を学修します。それらと並行して学科専攻科目のうち「運動療法学」、「福祉用具論」など理学療法の専門知識も習得します。また、病院や施設での理学療法業務を経験するために「臨床基礎実習」が始まります。

#### 3年生

専門的な理学療法の知識と技術を習得するために「運動器系理学療法学」、「中枢神経系理学療法学」、「内部障害理学療法学」、「神経筋障害理学療法学」、「装具学」、「物理療法学」など学科専攻科目の履修が進行します。2年生までに修得した知識を活かしながら、多角的な視点から理学療法を展開する能力を養います。これまで学んだ知識と技術をもとに「臨床評価実習」では、病院や施設において理学療法評価を実施できる能力を磨きます。また、「理学療法研究法演習Ⅰ」では、ゼミごとに文献抄読や発表を通じて研究力を身につけます。

#### 4年生

病院や施設における「総合臨床実習」では、3年間培った幅広い教養、高度な専門知識、論理的思考力を基に、理学療法プログラムの立案と実施を目指します。また、「理学療法研究法演習Ⅱ」では、ゼミ担当教員の指導のもと課題解決能力を磨き、卒業研究を完成します。さらに、研究成果をまとめ発表する機会を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めます。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件		修得単位	卒業所要単位					
	必要科目等	必要単位		小計	中計	大計	総計		
共通教養科目	共通教養科目より20単位								
	仏教・自校教育科目群								
	■必修科目の2単位		2単位	2単位	小計を満たし 2単位以上	小計・中計・大計を満たし 20単位  *卒業所要単位には20単位までしか算入できません。  *科目はpp.52-53参照	小計・中計・大計を満たし 124単位以上		
	・フツダと法然	2単位							
	□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上					
	グローバル科目群								
	■「必修外国語」の必修科目の6単位								
	・IntensiveReading1		6単位	6単位	小計を満たし 6単位以上				
	・IntensiveReading2								
	・IntegratedCommunicationSkills1								
	・IntegratedCommunicationSkills2								
	・IntegratedCommunicationSkills3								
	・IntegratedCommunicationSkills4								
	□「選択外国語」科目		0単位以上	0単位以上					
	□「任意で選択の科目」		0単位以上	0単位以上					
□「国際教養」科目		0単位以上	0単位以上						
□「任意で選択の科目」		0単位以上	0単位以上						
□「海外研修」科目		0単位以上	0単位以上						
□「任意で選択の科目」		0単位以上	0単位以上						
データサイエンス科目群									
■必修科目の2単位									
・ICTリテラシー	2単位		2単位	小計を満たし 2単位以上					
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
初年次教育科目群									
■必修科目の4単位									
・スタディ・スキルズ	2単位	4単位	4単位	小計を満たし 4単位以上					
・キャリア・スキルズ1	1単位								
・キャリア・スキルズ2	1単位								
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
キャリアスタディ科目群									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
プロジェクト科目群									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
自己形成科目群									
■文化と芸術を学ぶ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	6単位以上					
■地域と社会を学ぶ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
■人間と自然を学ぶ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
スポーツ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
大学コンソーシアム									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						

系列区分	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
専門科目	理学療法学科 必修科目			1 単位	1 単位	1 単位	1 単位
	理学療法学科 選択科目			1 単位	1 単位	1 単位	1 単位
				50 単位	50 単位	50 単位	50 単位
				50 単位	50 単位	50 単位	50 単位
				50 単位	50 単位	50 単位	50 単位

専門科目については次頁参照

- I
- 教育目標
- II
- 履修一般
- III
- 教育課程
- 共通
- 理学
- 作業
- 作業
- 看護
- 看護
- その他
- その他
- VII
- 規程

I 教育目標

II 履修一般

III 教育課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件		修得単位	卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位		小計	中計	大計	総計
専門科目より 104 単位以上	学部基礎科目						
	■必修科目の 1 単位					1 単位	
	・健康科学概論	1 単位		1 単位			
	学科基礎科目						
	■必修科目の 50 単位						
	・アカデミック・スキルズ	2 単位					
	・リハビリテーション医学概論	1 単位					
	・公衆衛生学	2 単位					
	・基礎解剖学	2 単位					
	・解剖学	2 単位					
	・解剖学演習	1 単位					
	・解剖学実習	1 単位					
	・基礎生理学	2 単位					
	・生理学	2 単位					
	・生理学演習	1 単位					
	・生理学実習	1 単位					
	・病理学概論	1 単位					
	・基礎運動学	2 単位					
	・基礎運動学演習	1 単位					
	・基礎運動学実習	1 単位					
	・内科学 I	2 単位					
	・内科学 II	2 単位					
	・精神医学	2 単位		50 単位			
	・臨床心理学	2 単位					
	・神経内科学 I	1 単位					
	・整形外科 I	2 単位					
	・脳神経外科学	1 単位					
	・小児科学	1 単位					
	・画像診断学	1 単位					
	・救急医学	1 単位					
	・薬理学	1 単位					
	・栄養学	1 単位					
	・理学療法概論	1 単位					
	・理学療法研究法	2 単位					
	・理学療法研究法演習 I	2 単位					
	・理学療法評価学 I	2 単位					
	・理学療法評価学 II	2 単位					
	・理学療法評価学演習 I	1 単位					
	・理学療法評価学演習 II	1 単位					
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	学科専攻科目						
	■必修科目の 48 単位						
	・運動療法学	2 単位					
	・運動療法学実習	1 単位					
	・運動器系理学療法学	2 単位					
	・運動器系理学療法学演習	1 単位					
	・中枢神経系理学療法学	2 単位					
	・中枢神経系理学療法学演習	1 単位					
	・内部障害理学療法学 I	1 単位					
	・内部障害理学療法学 II	1 単位					
・内部障害理学療法学演習	1 単位						
・神経筋障害理学療法学	1 単位						
・神経筋障害理学療法学演習	1 単位						
・装具学	2 単位						
・義肢学	1 単位						
・物理療法学	2 単位						
・物理療法学演習	1 単位						
・日常生活動作学	1 単位						
・小児理学療法学	1 単位						
・地域理学療法学	2 単位						
・健康増進理学療法	1 単位						
・臨床基礎実習	2 単位						
・臨床評価実習	4 単位						
・総合臨床実習 I	7 単位						
・総合臨床実習 II	7 単位						
・理学療法研究法演習 II	2 単位						
・臨床理学療法特論 I	1 単位						
□任意で選択の科目			0 単位以上				
関連科目							
■任意で選択の科目			5 単位以上	5 単位以上			
				小計を 満たし 50 単位 以上			
					小計・ 中計を 満たし 104 単位 以上	小計・ 中計・ 大計を 満たし 124 単位 以上	

理学療法学科 履修科目表 (1/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択/自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備考	
学部基幹科目	健康科学概論	1	必		1	1科目1単位を履修すること。 必修科目34科目50単位を履修すること。	
	アカデミック・スキルズ	2	必		2		
	リハビリテーション医学概論	1	必		1		
	公衆衛生学	2	必		2		
	基礎解剖学	2	必		1		
	解剖学	2	必		2		
	解剖学演習	1	必		2		
	解剖学実習	1	必		3		
	基礎生理学	2	必		1		
	生理学	2	必		2		
	生理学演習	1	必		2		
	生理学実習	1	必		3		
	病理学概論	1	必		4		
	基礎運動学	2	必		2		
	基礎運動学演習	1	必		3		
	基礎運動学実習	1	必		4		
	内科学 I	2	必		3		
	内科学 II	2	必		3		
	精神医学	2	必		4		
	臨床心理学	2	必		4		
	神経内科学 I	1	必		3		
	神経内科学 II	1		選	3		
	整形外科 I	2	必		3		
	整形外科 II	2		選	4		
	脳神経外科学	1	必		3		
	小児科学	1	必		4		
	画像診断学	1	必		4		
救急医学	1	必		4			
薬理学	1	必		5			
栄養学	1	必		2			
理学療法概論	1	必		3			
理学療法研究法	2	必		5			
理学療法研究法演習 I	2	必		6			
理学療法評価学 I	2	必		2			
理学療法評価学 II	2	必		3			
理学療法評価学演習 I	1	必		4			
理学療法評価学演習 II	1	必		4			
運動療法学	2	必		4	必修科目25科目48単位を履修すること。		
運動療法学実習	1	必		5			
運動器系理学療法学	2	必		5			
運動器系理学療法学演習	1	必		6			
中枢神経系理学療法学	2	必		5			
中枢神経系理学療法学演習	1	必		6			
内部障害理学療法学 I	1	必		5			
内部障害理学療法学 II	1	必		5			
内部障害理学療法学演習	1	必		6			
神経筋障害理学療法学	1	必		5			
神経筋障害理学療法学演習	1	必		6			
装具学	2	必		5			
義肢学	1	必		6			
物理療法学	2	必		5			
物理療法学演習	1	必		6			
日常生活動作学	1	必		5			
小児理学療法学	1	必		5			
地域理学療法学	2	必		5			
健康増進理学療法	1	必		6			
福祉用具論	1		選	4			
臨床バイオメカニクス	1		選	6			
理学療法技術論 I	2		選	4			
理学療法技術論 II	1		選	6			
臨床基礎実習	2	必		4		×	
臨床評価実習	4	必		6		×	
学科基礎科目							
専門科目							

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 共通
- 理学
- 作業
- 看護
- その他
- VII 規程

理学療法学科 履修科目表 (2/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択/自由			履修開始 セメスター	GPA 対象	備考		
			必修	選択	自由					
専門科目	学科専攻科目	総合臨床実習Ⅰ	7	必			7	×	必修科目25科目48単位を履修すること。	
		総合臨床実習Ⅱ	7	必			7	×		
		理学療法研究法演習Ⅱ	2	必			8			
		臨床理学療法特論Ⅰ	1	必			6			
		臨床理学療法特論Ⅱ	1		選		8			
	関連科目	医学一般	2		選		3		5単位以上履修すること。	
		精神科リハビリテーション学	1		選		5			
		神経リハビリテーション学	2		選		4			
		統合理学療法学	2		選		8			
		スポーツコンディショニング	1		選		5			
		スポーツパフォーマンス演習	1		選		8			
		地域ケア論	1		選		8			
		国際リハビリテーション学	1		選		5			
		災害リハビリテーション学	1		選		5			
		障がい者スポーツ論	2			自	1	×		自由科目で修得した単位は卒業所要単位には算入できません。
		障がい者スポーツ演習	2			自	2	×		

Ⅰ

教育  
目標

Ⅱ

履修  
一般

Ⅲ

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

Ⅶ

規程

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

## 公認パラスポーツ指導員資格

### 概要

公認パラスポーツ指導員とは、公益財団法人日本パラスポーツ協会が定める公認パラスポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導員で、日本国内のパラスポーツの普及と発展を目指し、パラスポーツのスポーツ環境を整備するうえで専門的な知識、技術を有する人材の養成、資質向上を目的とされています。

「障がい」を学ぶ、「障がいのある人」と関わることで、理学療法士としての自身のフィールド、考え、視点等に幅を持たせることが期待でき、また、活動を通して、①パラスポーツへの橋渡し・きっかけづくり、②地域のパラスポーツ振興の支援、③トップアスリートの支援、などの役割を担えることが期待できます。公認パラスポーツ指導員資格を得るためには、公益財団法人日本パラスポーツ協会が定める基準カリキュラムに対する本学読替科目をすべて修得し、加えて障がい者スポーツに関する活動実績80時間以上を必要とします。

なお、公認パラスポーツ指導員資格には、初級と中級がありますが、本学では初級および中級の双方を取得することが定められています。

### 公認パラスポーツ指導員資格

初級	中級
対象科目の履修	対象科目の履修 + 障がい者スポーツに関する活動実績 (80時間以上)

### 履修上の注意

公認パラスポーツ指導員資格課程は、1年次の春学期に開催される理学療法学科と作業療法学科合同の履修ガイダンスにて、当該資格に関する説明を受けた後、履修登録時に「希望資格登録」を行った者が履修できます。



I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

「公認パラスポーツ指導員資格」履修科目表

【初級】

法定基準 基準カリキュラム	本学基準			
	授業科目	単位	必修・ 選択の別	履修開始 セメスター
・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 ・パラスポーツの意義と理念 ・パラスポーツ推進の取り組み ・パラスポーツに関する諸施策 ・各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 ・全国障害者スポーツ大会の概要	障がい者スポーツ論	2	必	1
・コミュニケーションスキルの基礎	理学療法技術論 I	2	必	4
・障がいのある人との交流	地域理学療法学	2	必	5
・安全管理	救急医学	1	必	4
・各障がいの理解	リハビリテーション医学概論	1	必	1
	小児科学	1	必	4
	精神医学	2	必	4
	内科学 I	2	必	3
	内科学 II	2	必	3
	内部障害理学療法学 I	1	必	5
	内部障害理学療法学 II	1	必	5
	日常生活動作学	1	必	5
	小児理学療法学	1	必	5
	運動器系理学療法学	2	必	5
神経筋障害理学療法学	1	必	5	

【中級】

法定基準 基準カリキュラム	本学基準			
	授業科目	単位	必修・ 選択の別	履修開始 セメスター
・スポーツの意義と価値 ・障がい各論（視覚障がい／聴覚・音声言語障がい） ・全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義 ・全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分 ・全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割	障がい者スポーツ論	2	必	1
・公認パラスポーツ指導員としてのキャリア形成 ・地域におけるパラスポーツ振興 ・障がい者のスポーツ指導における留意点 ・全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 ・最重度の障がい者のスポーツの実際（重症心身障がい児・者を含む）	障がい者スポーツ演習	2	必	2
・身体の仕組みと体力づくり	基礎解剖学	2	必	1
	解剖学	2	必	2
	生理学	2	必	2
	基礎運動学	2	必	2
	基礎運動学演習	1	必	3
・救急処置法	救急医学	1	必	4

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

法定基準 基準カリキュラム	本学基準			
	授業科目	単位	必修・ 選択の別	履修開始 Semester
・ リスクマネジメント	臨床理学療法特論 I	1	必	6
	理学療法技術論 I	2	必	4
・ スポーツ心理学 I	臨床心理学	2	必	4
・ 障がい各論	整形外科学 I	2	必	3
	リハビリテーション医学概論	1	必	1
	神経内科学 I	1	必	3
	脳神経外科学	1	必	3
	小児科学	1	必	4
	精神医学	2	必	4
	日常生活動作学	1	必	5
	小児理学療法学	1	必	5
	運動器系理学療法学演習	1	必	6
	神経筋障害理学療法学演習	1	必	6
	内部障害理学療法学演習	1	必	6
	理学療法評価学演習 II	1	必	4
・ 補装具の理解	装具学	2	必	5
	義肢学	1	必	6
・ 発育・発達に応じた指導法	小児理学療法学	1	必	5

+

障がい者スポーツに関する活動実績報告書 (80 時間以上) の提出 ※第 4 学年 12 月 20 日まで

### 障がい者スポーツに関する活動 (ボランティア活動等) について

障がい者スポーツに関する活動は、本学が指定するイベントに限ります。詳細は、ガイダンスにて説明いたします。

また、希望資格登録日以降に参加したイベントのみ有効とします。活動実績申請期限は、卒業年次の12月20日17:00までです。(※学年暦により変更する可能性があります)

なお、指定イベントの参加は公欠として取り扱いません。

### 申請料について

指定科目の履修および活動実績の要件を充たした者は、卒業年次に公認パラスポーツ指導員資格取得の申請手続きを行います。申請に際しては、指定する日までに申請料(9,300円)の納入が必要となります。納入されなかった場合、公認パラスポーツ指導員資格取得の申請はできません。なお、一旦納入された申請料は、いかなる理由においても返還できません。

※申請料は、公益財団法人日本パラスポーツ協会が定めた金額であり、変更される場合があります。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 保健医療技術学部 作業療法学科

## 作業療法学科の教育方針

## 人材養成の目的

作業療法学科は、高い倫理観と他者への思いやりや円滑なコミュニケーション能力を有し、人々の健康に貢献できる作業療法士を育成します。また、保健・医療に関する知識と専門職としての技術をもち、生涯にわたって自己研鑽を続ける力を備えるよう育成します。

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- D1** 作業療法に関する基礎的な知識と、専門職としての基本的な実践能力を有している
- D2** さまざまな環境で生活する人々の健康に貢献するために、専門的知識・技能を活用することができる
- ①対象者にとって必要な情報や知識を収集し、作業療法視点で分析することができる
- ②分析の結果を、適切に説明・報告することができる
- D3** 豊かな人間性と倫理観を基盤に、作業療法に携わる者として人を思いやり共感できる
- D4** 作業療法士として関係する全ての人々と良好なコミュニケーションをとる能力を有する
- D5** 作業療法士として自身の役割を理解し、多職種連携のもと協働の姿勢を持つことができる
- D6** 社会の変化や保健・医療の高度化・情報化・作業療法の職域の発展に関心を持ち、目標を持って生涯にわたり自己研鑽する力を持っている

以上に示す力を修得するとともに、佛教大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）および保健医療技術学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に示す力を修得した学生に対して学位（学士）を授与します。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

## ＜教育課程の編成方針＞

作業療法学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定めた知識・理解・汎用的技能などの力を修得できるように、学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目、関連科目を順次性・体系性をもって教育課程（カリキュラム）を編成します。その際、カリキュラムの構造を分かりやすく示すだけでなく、科目の順次性、および科目内容の難易度については科目ナンバリングを、科目間の関連性やカリキュラムの構造についてはカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップなどのツールを提供し、学生が自らの学修目的にあわせて、カリキュラムの順次性、体系性、および各科目の特性や内容、科目の開講時期（配当セメスター）などを考慮しながら主体的に履修できるよう配慮します。

また学習方法については、学生が医療専門職の国家資格やその他の資格取得といった個々の学修目的に合わせて、教育課程の目的が十分に達成できるよう、講義、演習、臨床実習などを適切に組み合わせた科目を提供します。

## ＜教育課程実施の方針＞

- ①作業療法に関する基礎的な知識と、専門職としての基本的な実践能力を身に付け、活用することができるようにするため、学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目からなる専門教育を体系的に編成する
  - ①-1 作業療法に関する幅広い知識や視点を身に付けるために学部基幹科目に設定されている「健康科学概論」を提供する
  - ①-2 保健・医療領域の基礎的な知識や技能を修得するために、基礎医学系科目・臨床医学系科目を提供する
  - ①-3 さまざまな作業療法の場において、対象の健康段階や発達段階の特性とニーズを理解するに必要な情報を収集し、分析することができるよう作業療法の基盤系科目・評価学系科目を提供する
  - ①-4 さまざまな作業療法の場において、分析結果を適切に説明・報告することができるよう治療学系科目・臨床実習系科目・研究系科目を提供する
- ②医療人として、関係する全ての人々と良好なコミュニケーションをとることができるよう、コミュニケーションを学ぶ科目群として、「作業療法コミュニケーション学」、実習系科目を提供する
- ③作業療法士としての自身の役割を理解し、多職種連携のもと協働の姿勢を身につけ、活用することができるよう、臨床実習系科目を提供する
- ④社会の変化や保健・医療の高度化・情報化・作業療法の職域の発展に関心を持ち続け、共に成長することができるよう学びの幅を広げ、生涯にわたり自己研鑽の重要性を認識し実行できるよう基盤をつくるための科目として演習系科目、臨床実習系科目、関連科目を提供する

## ＜学修成果の評価方針＞

学修成果として修得した力や内容を評価するために、科目の特性に応じて以下に示す評価方法を組み合わせて評価を行います。

- ①筆記試験による評価

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

- ②実技試験による評価
- ③レポート試験による評価
- ④各種提出物の内容に関する評価
- ⑤科目担当者が指定する方法による評価(授業への取組状況や授業内小テストなど)
- ⑥学科が定める学外(施設)実習の評価

## 作業療法学科の教育内容

## 1年生

建学の精神を理解し、人間力の基盤を身につけるために、共通教養科目を学びます。さらに保健医療関連領域における基礎科目を受講し、幅広い教養と学科専門教育の基礎を学びます。また、専門的知識を習得するために必要な知識を学科の特性も含めて「アカデミック・スキルズ」で学修します。

## 2年生

学科基礎科目や学科専攻科目の履修を本格的に進めていきます。作業療法過程における、評価や治療に関する基礎知識や技術を全領域にわたり学びます。実習科目としては、「地域実習Ⅰ」にて作業療法の臨床場面の見学を通して、学内で履修した基礎知識と繋ぎ合わせ作業療法への理解を深めていきます。

## 3年生

学科専攻科目の「演習」により、さらに専門的な知識や技術を深めていきます。これまでに、習得した専門科目を基盤に、作業療法における全領域の治療や援助方法について学修します。

実習科目においては、対象者を通して作業療法における評価までの流れについて「臨床評価実習」にて臨床実習指導者の指導を受けながら主体的に学びます。

## 4年生

作業療法の全過程を体験し学修するために「総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ」「地域実習Ⅱ」にて、3年次までに学修した知識・技術を、臨床の現場でさらに深め実践力を高めます。また、これまでに培った幅広い作業療法の知識を基に、臨床応用できる力を養うため、「総合作業療法学」等を包括的に学習します。



- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 共通理学
- 作業
- 看護
- その他
- VIII 規程

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件		修得単位	卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位		小計	中計	大計	総計
専門科目より104単位以上	学部基幹科目						
	■必修科目の1単位			1単位		1単位	
	・健康科学概論	1単位					
	学科基礎科目						
	■必修科目の55単位			55単位		小計を 満たし 55 単位 以上	
	・アカデミック・スキルズ	2単位					
	・リハビリテーション医学概論	1単位					
	・基礎解剖学	2単位					
	・解剖学	2単位					
	・解剖学演習	1単位					
・解剖学実習	1単位						
・基礎生理学	2単位						
・生理学	2単位						
・生理学演習	1単位						
・生理学実習	1単位						
・病理学概論	1単位						
・公衆衛生学	2単位						
・基礎運動学	1単位						
・基礎運動学演習	1単位						
・内科学I	2単位						
・内科学II	2単位						
・精神医学	2単位						
・臨床心理学	2単位						
・神経内科学I	1単位						
・整形外科I	2単位						
・脳神経外科学	1単位						
・小児科学	1単位						
・画像診断学	1単位						
・救急医学	1単位						
・薬理学	1単位						
・栄養学	1単位						
・基礎作業学	2単位						
・基礎作業学演習	1単位						
・作業療法学概論	2単位						
・作業療法研究方法論	1単位						
・作業療法研究法演習I	1単位						
・作業療法管理運営論	2単位						
・作業療法評価学総論	1単位						
・作業療法評価学演習	1単位						
・生活行為評価学演習	1単位						
・感覚・運動系評価学演習	1単位						
・精神・社会系評価学演習	1単位						
・発達系評価学演習	1単位						
・高次脳機能系評価学演習	1単位						
・作業療法・Re・デザイン	1単位						
・作業療法コミュニケーション学	1単位						
□任意で選択の科目			0単位以上				
学科専攻科目							
■必修科目の45単位			45単位		小計を 満たし 45 単位 以上		
・感覚・運動系作業治療学I	2単位						
・感覚・運動系作業治療学II	2単位						
・感覚・運動系作業治療学演習	1単位						
・精神・社会系作業治療学	2単位						
・精神・社会系作業治療学演習	1単位						
・発達系作業治療学	2単位						
・発達系作業治療学演習	1単位						
・高次脳機能系作業治療学	2単位						
・地域作業治療学	2単位						
・地域作業治療学演習	1単位						
・老年期作業治療学	2単位						
・生活行為援助論	1単位						
・生活行為援助論演習	1単位						
・リハビリテーション工学演習	1単位						
・臨床見学実習	1単位						
・地域実習I	1単位						
・臨床評価実習	3単位						
・総合臨床実習I	7単位						
・総合臨床実習II	7単位						
・地域実習II	3単位						
・総作業療法学	2単位						
□任意で選択の科目			0単位以上				
関連科目							
■任意で選択の科目			3単位以上		3単位以上		
					小計・ 中計を 満たし 104 単位 以上	小計・ 中計・ 大計を 満たし 124 単位 以上	

作業療法学科 履修科目表 (1/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択/自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
学部 基礎科目	健康科学概論	1	必	1		1科目1単位を履修すること。
	アカデミック・スキルズ	2	必	2		
	リハビリテーション医学概論	1	必	1		必修科目41科目55単位を履修すること。
	基礎解剖学	2	必	1		
	解剖学	2	必	2		
	解剖学演習	1	必	2		
	解剖学実習	1	必	3		
	基礎生理学	2	必	1		
	生理学	2	必	2		
	生理学演習	1	必	2		
	生理学実習	1	必	3		
	病理学概論	1	必	4		
	公衆衛生学	2	必	2		
	基礎運動学	1	必	2		
	基礎運動学演習	1	必	2		
	内科学 I	2	必	3		
	内科学 II	2	必	3		
	精神医学	2	必	4		
	臨床心理学	2	必	4		
	神経内科学 I	1	必	3		
	神経内科学 II	1	選	3		
	整形外科 I	2	必	3		
	整形外科 II	2	選	4		
	脳神経外科学	1	必	3		
	小児科学	1	必	4		
	画像診断学	1	必	4		
	救急医学	1	必	4		
	薬理学	1	必	5		
	栄養学	1	必	2		
	基礎作業学	2	必	3		
	基礎作業学演習	1	必	4		
	作業療法学概論	2	必	1		
	作業療法研究方法論	1	必	6		
	作業療法研究法演習 I	1	必	6		
	作業療法管理運営論	2	必	6		
	作業療法評価学総論	1	必	3		
	作業療法評価学演習	1	必	5		
	生活行為評価学演習	1	必	4		
	感覚・運動系評価学演習	1	必	3		
	精神・社会系評価学演習	1	必	4		
	発達系評価学演習	1	必	3		
高次脳機能系評価学演習	1	必	5			
作業療法・Re・デザイン	1	必	4			
作業療法コミュニケーション学	1	必	3			
専 門 科 目	感覚・運動系作業治療学 I	2	必	4		必修科目21科目45単位を履修すること。
	感覚・運動系作業治療学 II	2	必	5		
	感覚・運動系作業治療学演習	1	必	6		
	精神・社会系作業治療学	2	必	5		
	精神・社会系作業治療学演習	1	必	6		
	発達系作業治療学	2	必	5		
	発達系作業治療学演習	1	必	6		
	高次脳機能系作業治療学	2	必	6		
	地域作業治療学	2	必	3		
	地域作業治療学演習	1	必	8		
	老年期作業治療学	2	必	4		
	生活行為援助論	1	必	5		
	生活行為援助論演習	1	必	5		
	リハビリテーション工学演習	1	必	6		
	臨床見学実習	1	必	1	×	
	地域実習 I	1	必	4	×	
	臨床評価実習	3	必	6	×	
	総合臨床実習 I	7	必	7	×	
	総合臨床実習 II	7	必	7	×	
	地域実習 II	3	必	7	×	
	作業療法研究法演習 II	1	選	8		
総合作業療法学	2	必	8			

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

作業療法学科 履修科目表 (2/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択/自由			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考	
			必修	選択	自由				
専 門 科 目	関 連 科 目	医学一般	2		選		3	3単位以上履修すること。	
		精神科リハビリテーション学	1		選		5		
		国際リハビリテーション学	1		選		5		
		災害リハビリテーション学	1		選		5		
		スポーツコンディショニング	1		選		5		
		地域ケア論	1		選		8		
		障がい者スポーツ論	2			自	1	×	自由科目で修得した単位は卒業所要単位には算入できません。
		障がい者スポーツ演習	2			自	2	×	

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## 公認パラスポーツ指導員資格

### 概要

公認パラスポーツ指導員とは、公益財団法人日本パラスポーツ協会が定める公認パラスポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導員で、日本国内のパラスポーツの普及と発展を目指し、パラスポーツのスポーツ環境を整備するうえで専門的な知識、技術を有する人材の養成、資質向上を目的とされています。

「障がい」を学ぶ、「障がいのある人」と関わることで、作業療法士としての自身のフィールド、考え、視点等に幅を持たせることが期待でき、また、活動を通して、①パラスポーツへの橋渡し・きっかけづくり、②地域のパラスポーツ振興の支援、③トップアスリートの支援、などの役割を担えることが期待できます。

公認パラスポーツ指導員資格を得るためには、公益財団法人日本パラスポーツ協会が定める基準カリキュラムに対する本学読替科目をすべて修得し、加えて障がい者スポーツに関する活動実績80時間以上を必要とします。

なお、公認パラスポーツ指導員資格には、初級と中級がありますが、本学では初級および中級の双方を取得することが定められています。

### 公認パラスポーツ指導員資格

初級	中級
対象科目の履修	対象科目の履修 + 障がい者スポーツに関する活動実績(80時間以上)

### 履修上の注意

公認パラスポーツ指導員資格課程は、1年次の春学期に開催される理学療法学科と作業療法学科合同の履修ガイダンスにて、当該資格に関する説明を受けた後、履修登録時に「希望資格登録」を行った者が履修できます。

ガイダンス  
に出席

希望資格  
登録

対象科目の  
履修

活動実績申請  
書の提出

卒業年次に  
申請

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

「公認パラスポーツ指導員資格」履修科目表

【初級】

法定基準 基準カリキュラム	本学基準			
	授業科目	単位	必修・ 選択の別	履修開始 セメスター
・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 ・パラスポーツの意義と理念 ・パラスポーツ推進の取り組み ・パラスポーツに関する諸施策 ・各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 ・全国障害者スポーツ大会の概要	障がい者スポーツ論	2	必	1
・コミュニケーションスキルの基礎	作業療法コミュニケーション学	1	必	3
・障がいのある人との交流	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	必	4
・安全管理	救急医学	1	必	4
・各障がいの理解	リハビリテーション医学概論	1	必	1
	小児科学	1	必	4
	精神医学	2	必	4
	内科学Ⅰ	2	必	3
	内科学Ⅱ	2	必	3
	発達系作業治療学	2	必	5
	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	必	4
	高次脳機能系評価学演習	1	必	5

【中級】

法定基準 基準カリキュラム	本学基準			
	授業科目	単位	必修・ 選択の別	履修開始 セメスター
・スポーツの意義と価値 ・障がい各論（視覚障がい／聴覚・音声言語障がい） ・全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義 ・全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分 ・全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割	障がい者スポーツ論	2	必	1
・公認パラスポーツ指導員としてのキャリア形成 ・地域におけるパラスポーツ振興 ・障がい者のスポーツ指導における留意点 ・全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 ・最重度の障がい者のスポーツの実際（重症心身障がい児・者を含む）	障がい者スポーツ演習	2	必	2
・身体の仕組みと体力づくり	基礎解剖学	2	必	1
	解剖学	2	必	2
	生理学	2	必	2
	基礎運動学	1	必	2
	基礎運動学演習	1	必	2
・救急処置法	救急医学	1	必	4
・リスクマネジメント	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	必	4
	作業療法管理運営論	2	必	6
・スポーツ心理学Ⅰ	臨床心理学	2	必	4

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

法定基準 基準カリキュラム	本学基準			
	授業科目	単位	必修・ 選択の別	履修開始 semester
・ 障がい各論	整形外科学 I	2	必	3
	リハビリテーション医学概論	1	必	1
	神経内科学 I	1	必	3
	脳神経外科学	1	必	3
	小児科学	1	必	4
	精神医学	2	必	4
	発達系作業治療学	2	必	5
	精神・社会系作業治療学	2	必	5
	生活行為援助論演習	1	必	5
	感覚・運動系作業治療学演習	1	必	6
・ 補装具の理解	リハビリテーション工学演習	1	必	6
・ 発育・発達に応じた指導法	発達系評価学演習	1	必	3

+

障がい者スポーツに関する活動実績報告書（80時間以上）の提出 ※第4学年12月20日まで

### 障がい者スポーツに関する活動（ボランティア活動等）について

障がい者スポーツに関する活動は、本学が指定するイベントに限ります。詳細は、ガイダンスにて説明いたします。

また、希望資格登録日以降に参加したイベントのみ有効とします。活動実績申請期限は、卒業年次の12月20日17:00までです。（※学年暦により変更する可能性があります）

なお、指定イベントの参加は公欠として取り扱いません。

### 申請料について

指定科目の履修および活動実績の要件を充たした者は、卒業年次に公認パラスポーツ指導員資格取得の申請手続きを行います。申請に際しては、指定する日までに申請料(9,300円)の納入が必要となります。納入されなかった場合、公認パラスポーツ指導員資格取得の申請はできません。なお、一旦納入された申請料は、いかなる理由においても返還できません。

※申請料は、公益財団法人日本パラスポーツ協会が定めた金額であり、変更される場合があります。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 看護学部 看護学科

## 看護学科の教育方針

## 人材養成の目的

看護学科は、豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職として人を思いやり共感できる人材を養成します。あわせて、看護学の学識と基礎的な看護実践能力、対象を理解し支援するためのコミュニケーション力、多職種と協働する力、自己研鑽する力、研究的思考やグローバルな視点を備え、地域社会や人々の健康に貢献できる人材を養成します。

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- D1 豊かな人間性と倫理観を基盤に、看護職として人を思いやり共感できる
- D2 看護学および隣接領域に関する知識と基礎的な看護実践能力を身につけている
- D3 グローバルな視点を持ち、地域社会やあらゆる環境下において生活する人々の健康に貢献できる力を身につけている
- D4 看護の対象を理解し支援するための適切なコミュニケーション力を身につけている
- D5 多職種連携における看護職の役割を理解し協働できる
- D6 よりよい看護を追求するための研究的思考を身につけている
- D7 社会の変化や保健・医療の高度化・情報化に関心を持ち、自己研鑽する力を備えている

以上に示す看護学部看護学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）および佛教大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に示す力を修得した学生に対して学位（学士）を授与します。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

## ＜教育課程の編成方針＞

看護学科では、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき入学した学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識や能力を修得できるために、次に掲げる教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）5項目に添った教育課程を編成し実施します。

また、教育方法として、講義では、看護および多分野にわたる学問を通じ、看護職に必要な知識を体系的に学びます。演習では、学内で模擬実践を行い、看護技術やコミュニケーションスキル等を実践的に修得します。また、シミュレーション学習を中心とした、現場に近い環境での学修を行います。臨地実習では、病院や施設での体験学習を通じ、看護を支える思考とともに知識技術を活用し看護実践能力の向上を目指します。看護職に必要な知識、技術、態度を総合的に養成するため、講義、演習、実習を組み合わせる多面的に教育しています。

## ＜教育課程実施の方針＞

- ①社会人として必要な教養や看護職として求められる基本的な資質・能力を身につけ、人間性を涵養するために、仏教関連科目をはじめとした科目を配置する
- ②社会環境の中で存在する人間を包括的（全人的）に理解することを基盤として、対象となる人々の健康に関する看護学の基本を学ぶ科目を配置する
- ③多様な看護の場において、対象の健康段階や発達段階の特性とニーズに応じた看護を展開する能力を身につける学科専攻科目を配置する
- ④看護の知識と技術を統合し、対象を中心とした多職種と連携する能力を身につける臨地実習科目を配置する
- ⑤より良い看護を探求し、専門性の発展に貢献する看護学研究活動の基盤をつくる科目を配置する

## ＜学修成果の評価方針＞

全ての開講科目について、それぞれの学修目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これらをシラバスに明記して学生に周知し、学修成果を厳格かつ公正に評価することにより、仏教精神を基盤に社会のニーズに応じた質の高い看護基礎教育を実現します。学生の学修成果は、定期試験、課題、発表等を用いて多角的な観点から評価します。また、臨地実習においては、学生が提出する記録物、実習態度等をふまえ、実習目標の達成度を総合的に評価します。具体的な評価方法は以下の通りです。

- ①筆記試験・レポート試験による評価
- ②演習科目での実技試験による評価
- ③実習科目での実習目標到達度（知識・技術・態度など）による評価
- ④授業への取組状況や授業内の小テストなど、科目担当者が指定する方法による評価

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 看護学科の教育内容

## 1年生

共通教養科目で建学の精神に基づく科目や、情報通信技術(ICT)活用のための基礎的能力科目、語学に関する科目などを受講し、幅広い教養と豊かな人間性を培います。また、大学での専門的な学修や研究に必要な技術や能力を身に付けるために「スタディ・スキルズ」や「アカデミック・スキルズ」を学び、医療人としての探求心を高め専門分野の学びの基礎を作ります。さらに、看護学の基盤となる概念や理論を学び、「看護過程論」「生活行動援助技術論」「地域・在宅看護学概論」などによって看護の展開方法を理解します。「基礎解剖学」「基礎生理学」「疾病論Ⅰ・Ⅱ」で心身の機能について医学的にも学びます。このような学びとともに、「コミュニティ実習」で地域の現状や人々の生活を、「基礎看護学実習Ⅰ」では看護援助の基本を、体験をとおして学びを深めます。

## 2年生

本格的に専攻科目の履修が始まり、基礎看護学の科目に加えて、看護専門領域〈成人、老年、小児、母性、精神、地域・在宅、公衆衛生〉の基礎的な看護実践能力を修得するための必修科目を履修します。人の成長や発達段階の特徴をふまえて、看護を必要としている人の視点に立って看護の方法論や、診療の補助に必要な看護技術などの専門的な内容を学びます。「基礎看護学実習Ⅱ」では、臨床で看護過程を用いて基本的な看護を実践します。また、異なる文化や価値観を認めた上で健康問題や課題、看護活動について学びます。

## 3年生

看護の専門性を深めるための看護専門領域の必修科目を履修します。幅広い視野を持って様々な人々の健康・生活課題を多角的に分析する力を強化し、実践力を養います。また、災害時の危機的状況下での健康問題や課題、看護活動を理解します。また、成人期と老年期の健康レベルに応じた臨地実習は、看護を必要としている人の視点に立って看護を展開できる看護実践能力(知識・技術・態度)を身につけ、他の専門職の役割を理解し、連携を学びます。加えて、地域・在宅における課題や対象に合わせた看護の実践能力を養います。保健師課程の学生は、講義、演習を通して保健師として必要な知識、技術を学びます。

## 4年生

これまでに培った看護実践能力をふまえて、小児・母性・精神看護学領域の臨地実習を履修し、個別性に応じた看護援助を展開できる能力を身につけます。その上で、より応用的・発展的な知識・技術が求められる「統合実践看護実習」においては、健康問題やウエルネスの視点に基づいて理解し、必要な看護援助を展開して、看護実践能力(知識・技術・態度)と倫理的な感受性を高めます。保健師課程の学生は、公衆衛生看護学実習を履修し、行政や学校、企業等における保健師活動を学びます。ゼミによる卒業研究では専門職として求められる研究的な態度と能力を培い、卒業後の看護実践の場において対象に応じて看護を創造しようとする意欲と関心をもつ力を養います。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件		修得単位	卒業所要単位			総計		
	必要科目等	必要単位		小計	中計	大計			
共通教養科目	共通教養科目より20単位								
	仏教・自校教育科目群								
	■必修科目の2単位 ・ブツダと法然		2単位	2単位	小計を満たし 2単位以上				
	□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上					
	グローバル科目群								
	■「必修外国語」の必修科目の6単位		6単位	6単位	小計を満たし 6単位以上				
	・IntensiveReading1								
	・IntensiveReading2								
	・IntegratedCommunicationSkills1								
	・IntegratedCommunicationSkills2								
	・IntegratedCommunicationSkills3								
	・IntegratedCommunicationSkills4								
	□「選択外国語」科目		0単位以上	0単位以上	小計を満たし 20単位				
	□「国際教養」科目								
	□「海外研修」科目								
	□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	※卒業所要 単位には 20単位 までしか 算入でき ません。				
	□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上					
データサイエンス科目群									
■必修科目の2単位 ・ICTリテラシー		2単位	2単位	小計を満たし 2単位以上					
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
初年次教育科目群									
■必修科目の4単位		4単位	4単位	小計を満たし 4単位以上					
スタディ・スキルズ									
キャリア・スキルズ1									
キャリア・スキルズ2		1単位	1単位	※科目は pp.52-53 参照					
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
キャリアスタディ科目群									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	小計を満たし 124 単位以上					
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
プロジェクト科目群									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	小計を満たし 6単位以上					
自己形成科目群									
■文化と芸術を学ぶ		0単位以上	0単位以上				小計を満たし 6単位以上		
□任意で選択の科目									
■地域と社会を学ぶ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	小計を満たし 20単位					
■人間と自然を学ぶ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上						
スポーツ									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	小計を満たし 20単位					
大学コンソーシアム									
□任意で選択の科目		0単位以上	0単位以上	小計を満たし 20単位					
専門科目									
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">                     専門科目については次頁参照                 </div>									

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 共通
- 理学
- 作業
- 看護
- その他

- VII 規程

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 共通理学
- 作業
- 看護
- その他
- VII 規程

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件		修得単位	卒業所要単位			総計
	必要科目等	必要単位		小計	中計	大計	
専門科目より104単位以上	学部基幹科目						
	■必修科目の1単位		1単位	1単位		1単位	
	・医療概論	1単位					
	学科基礎科目						
■必修科目の28単位		28単位		小計を満たし28単位			
・アカデミック・スキルズ	2単位						
・仏教看護	1単位						
・基礎解剖学	2単位						
・基礎生理学	2単位						
・病理学概論	2単位						
・栄養学	2単位						
・疾病論Ⅰ	2単位						
・疾病論Ⅱ	2単位						
・疾病論Ⅲ	2単位						
・疾病論Ⅳ	2単位						
・薬理学	1単位						
・公衆衛生学	2単位						
・社会福祉	2単位						
・保健医療福祉行政論	2単位						
・保健統計学	2単位						
学科専攻科目							
■必修科目の69単位		69単位		小計を満たし69単位以上			
・看護学概論	2単位						
・看護実践基盤技術論	2単位						
・フィジカルアセスメント技術	1単位						
・生活行動援助技術論	2単位						
・看護過程論	1単位						
・診療援助技術論Ⅰ	1単位						
・診療援助技術論Ⅱ	1単位						
・基礎看護学実習Ⅰ	1単位						
・基礎看護学実習Ⅱ	2単位						
・コミュニティ実習	1単位						
・地域・在宅看護学概論	1単位						
・地域・在宅看護方法論Ⅰ	2単位						
・地域・在宅看護方法論Ⅱ	1単位						
・地域・在宅看護学実習	2単位						
・クリティカルケア看護学Ⅰ	2単位						
・クリティカルケア看護学Ⅱ	1単位						
・クリティカルケア看護学実習	3単位						
・慢性看護学Ⅰ	2単位						
・慢性看護学Ⅱ	1単位						
・慢性看護学実習	3単位						
・老年看護学概論	1単位						
・老年看護方法論Ⅰ	2単位						
・老年看護方法論Ⅱ	1単位						
・老年看護学実習	3単位						
・小児看護学概論	1単位						
・小児看護方法論Ⅰ	2単位						
・小児看護方法論Ⅱ	1単位						
・小児看護学実習	2単位						
・母性看護学概論	1単位						
・母性看護方法論Ⅰ	2単位						
・母性看護方法論Ⅱ	1単位						
・母性看護学実習	2単位						
・精神看護学概論	1単位						
・精神看護方法論Ⅰ	2単位						
・精神看護方法論Ⅱ	1単位						
・精神看護学実習	2単位						
・公衆衛生看護学概論	2単位						
・国際看護学	1単位						
・災害看護学	1単位						
・エンドオブライフケア論	1単位						
・ホリスティックケアアプローチ	1単位						
・看護倫理学	1単位						
・看護マネジメント	1単位						
・看護研究Ⅰ	1単位						
・看護研究Ⅱ	1単位						
・統合実践看護実習	2単位						
学科専攻科目・関連科目							
保健師国家試験受験資格課程履修者 以外							
■学科専攻科目(選択科目)および関連科目から任意で選択の科目	6単位以上			小計を満たし6単位以上もしくは21単位			
保健師国家試験受験資格課程履修者							
■学科専攻科目(選択科目)および関連科目の指定された科目	21単位						

小計・中計・大計を満たし104単位以上

小計・中計・大計を満たし124単位以上

※保健師国家試験受験資格課程履修者はp.81を参照

看護学科 履修科目表 (1/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択		履修開始 Semester	GPA 対象	備 考
			必修	選択			
学部基幹科目	医療概論	1	必		1		必修科目1科目1単位を履修すること。
	アカデミック・スキルズ	2	必		2		必修科目15科目28単位を履修すること。
	仏教看護	1	必		3		
	基礎解剖学	2	必		1		
	基礎生理学	2	必		1		
	病理学概論	2	必		2		
	栄養学	2	必		2		
	疾病論Ⅰ	2	必		2		
	疾病論Ⅱ	2	必		2		
	疾病論Ⅲ	2	必		3		
	疾病論Ⅳ	2	必		3		
	薬理学	1	必		3		
	公衆衛生学	2	必		3		
	社会福祉	2	必		2		
	保健医療福祉行政論	2	必		3		
保健統計学	2	必		4			
専 門 科 目	看護学概論	2	必		1		必修科目69単位を履修すること。なお、「保健師国家試験受験資格」を希望する場合は、選択科目9科目19単位をあわせて履修すること。(p.81参照)
	看護実践基盤技術論	2	必		1		
	フィジカルアセスメント技術	1	必		2		
	生活行動援助技術論	2	必		2		
	看護過程論	1	必		3		
	診療援助技術論Ⅰ	1	必		3		
	診療援助技術論Ⅱ	1	必		4		
	基礎看護学実習Ⅰ	1	必		2		
	基礎看護学実習Ⅱ	2	必		3		
	コミュニティ実習	1	必		1		
	地域・在宅看護学概論	1	必		2		
	地域・在宅看護方法論Ⅰ	2	必		3		
	地域・在宅看護方法論Ⅱ	1	必		5		
	地域・在宅看護学実習	2	必		6		
	クリティカルケア看護学Ⅰ	2	必		4		
	クリティカルケア看護学Ⅱ	1	必		5		
	クリティカルケア看護学実習	3	必		6		
	慢性看護学Ⅰ	2	必		4		
	慢性看護学Ⅱ	1	必		5		
	慢性看護学実習	3	必		6		
	老年看護学概論	1	必		3		
	老年看護方法論Ⅰ	2	必		4		
	老年看護方法論Ⅱ	1	必		5		
	老年看護学実習	3	必		6		
	小児看護学概論	1	必		3		
	小児看護方法論Ⅰ	2	必		4		
	小児看護方法論Ⅱ	1	必		5		
	小児看護学実習	2	必		7		
	母性看護学概論	1	必		3		
	母性看護方法論Ⅰ	2	必		4		
	母性看護方法論Ⅱ	1	必		5		
	母性看護学実習	2	必		7		
	精神看護学概論	1	必		3		
	精神看護方法論Ⅰ	2	必		4		
	精神看護方法論Ⅱ	1	必		5		
精神看護学実習	2	必		7			
公衆衛生看護学概論	2	必		4			
公衆衛生看護方法論Ⅰ	2		選	4			
公衆衛生看護方法論Ⅱ	2		選	5			
公衆衛生看護展開論Ⅰ	2		選	5			
公衆衛生看護展開論Ⅱ	2		選	5			
公衆衛生看護管理論Ⅰ	2		選	5			
公衆衛生看護管理論Ⅱ	2		選	5			
公衆衛生看護活動論	2		選	7			
公衆衛生看護学実習Ⅰ	1		選	7			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4		選	7			
国際看護学	1	必		3			
災害看護学	1	必		5			

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 共通
- 理学
- 作業
- 看護
- その他
- VII 規程

看護学科 履修科目表 (2/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修/選択		履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考	
			必修	選択				
専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	エンドオブライフケア論	1	必		5	必修科目69単位を履修すること。なお、「保健師国家試験受験資格」を希望する場合は、選択科目9科目19単位をあわせて履修すること。(p.81参照)	
		ホリスティックケアアプローチ	1	必		5		
		看護倫理学	1	必		7		
		看護マネジメント	1	必		8		
		看護研究Ⅰ	1	必		7		
		看護研究Ⅱ	1	必		8		
		統合実践看護実習	2	必		7		
	関 連 科 目	生化学	2		選	1		学科専攻科目の選択科目「公衆衛生看護方法論Ⅰ」および関連科目から合計6単位以上を履修すること。なお、「保健師国家試験受験資格」を希望する場合は、「看護疫学」(2単位)を履修すること。
		感染免疫学	1		選	2		
		臨床心理学	1		選	3		
		看護疫学	2		選	4		
		看護教育学	1		選	8		
		クリティカルケア看護実践	1		選	8		
		臨床推論	1		選	8		

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程



**注意!**

保健師国家試験受験資格は、在学中に pp.77-80 の卒業所要単位を充たし、保健師国家試験受験資格課程の単位を修得する必要があります。

**保健師国家試験受験資格**

**概要**

保健師の仕事は、家庭訪問、健康相談、健康教育など一つひとつ積み重ねていきながら、人々が健康に暮らせるように、健康施策や社会資源開発も行うダイナミックなものです。活動の対象は、妊産婦・乳幼児から高齢者まで全ての人々で、健康レベルも健康増進から、病気や障害をもつ人々の生活の質を高める支援まで含みます。活動の場は、行政保健師として保健所や市町村保健センターなどの行政機関、産業保健師として企業等の事業場および、養護教諭として小中学校等の学校があります。さらに、開発途上国で活躍する保健師も存在し、その活動の場は多岐にわたっています。

保健師の免許を得るためには、保健師国家試験受験資格を得て、毎年2月下旬に実施される保健師国家試験に合格し、登録を受ける必要があります。

保健師国家試験受験資格は、看護学部において、在学中に保健師国家試験受験資格課程の単位を修得した者が、「保健師助産師看護師法」(第19条第1項)に基づき、得ることができます。

**履修上の注意**

保健師国家試験受験資格課程は、選考試験(第2学年次秋学期終了時)に合格した者のみが履修できます。選考試験及び授業科目の履修登録に際しては、学科が実施するガイダンスに必ず出席してください。

**「保健師国家試験受験資格課程」履修科目表**

法定基準		本学基準				
指定科目名	授業科目	単位	必修・選択の別	履修開始semester	最低取得単位数	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	必	4	24	
	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	必		4
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	必		5
	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護展開論Ⅰ	2	必		5
		公衆衛生看護展開論Ⅱ	2	必		5
	公衆衛生看護管理論	公衆衛生看護管理論Ⅰ	2	必		5
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	2	必		5
	公衆衛生看護活動論	2	必	7		
疫学	看護疫学	2	必	4		
保健統計学	保健統計学	2	必	4		
保健医療福祉行政論	公衆衛生学	2	必	3		
	保健医療福祉行政論	2	必	3		
公衆衛生看護学実習	個人・家族・集団・組織の支援実習	1	必	7	5	
	公衆衛生看護活動展開論実習					
	公衆衛生管理論実習	4	必	7		

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

課程受講料について

保健師国家試験受験資格課程の履修に際して、選考試験合格後、指定する期日までに課程受講料（50,000円）の納入が必要となります。納入されなかった場合、課程の履修は取り消されます。なお、一旦納入された課程受講料は、いかなる理由においても返還できません。

申請により得られる免許

〔養護教諭2種免許〕

保健師国家試験に合格し保健師の登録をした者で、文部科学省令（教育職員免許状施行規則第66条の6）に定める科目（下表参照）を修得した者は、都道府県教育委員会への申請により養護教諭2種免許状を取得することができます。

文部科学省令（教育職員免許状施行規則第66条の6）に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本 学 基 準		
科 目	単位数	系列	科 目	単位数
日本国憲法	2	共通教養	「日本国憲法」	2
体育	2	共通教養	「スポーツ理論」	1
			「スポーツ実技」	1
外国語コミュニケーション	2	共通教養	「Integrated Communication Skills1」	2
			「Integrated Communication Skills2」 (2科目)	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	共通教養	「ICTリテラシー」	2

〔第一種衛生管理者免許〕

保健師国家試験に合格し保健師の登録をした者は、都道府県労働局への申請により第一種衛生管理者の免許を取得することができます。

対象学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科

## 大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、その単位を所属大学の単位として認定する制度です。学生の幅広い関心と興味に応じて、文化、芸術、政治、経済、自然科学など、ほぼ全ての学問分野にわたる科目が9テーマに分類され提供されています。自分の専攻を深めたい人、いろいろな可能性にチャレンジしてみたい人、自分の大学にない分野の科目を学んでみたい人など、毎年様々な動機で多くの学生が履修しています。本学の学生もこの制度により他大学の単位互換科目を受講することができます。受講料は無料（ただし科目により、所定の実習費等実費が必要となる場合があります）です。詳細については、『単位互換・京カレッジポータルサイト』（(財)大学コンソーシアム京都）を参照してください。

なお、本学における出願要項は次のとおりです。

## 出願要項

出願期間 (追加出願期間)	B-netにてお知らせします。(3月下旬～4月初旬)
出願先	本学学生支援課
出願方法	出願期間内に大学コンソーシアム京都のホームページ内「単位互換・京カレッジポータルサイト」にて出願票を作成し、学生支援課に提出する。
履修許可	受け入れ大学(以下「科目開設大学」)で出願が受理された学生に、履修が許可されます。申込みが多数の場合は、科目開設大学で書類選考等が行われます。なお、履修許可された授業科目の単位数は、「履修登録上限」の単位数に含めません。
履修許可通知	「単位互換・京カレッジポータルサイト」にて登録したメールアドレス宛に、履修可否を通知します。 ※出願された科目について、履修可否の通知までは、科目開設大学にて仮受講を許可していますので、必ず出席してください。
履修手続き	履修許可を受けた学生は、科目開設大学から指示された所定の手続きを行ってください。
身分証明書	手続きを完了した学生に、科目開設大学から身分証明書(単位互換履修生証等)が交付されます。※大学によっては、交付されない場合がありますので、科目開設大学の指示にしたがってください。
履修方法	科目開設大学の指示に従ってください。 受講日等は「単位互換制度特設サイト」で確認してください。
単位の認定	大学コンソーシアム京都単位互換履修生として修得した単位は、8単位を上限として、本学の共通教養科目の単位として認定します。なお、単位認定は年度末となります。但し、 <u>第4学年次において修得した単位は、本学の卒業所要単位として認定することはできません。</u>
その他	出願の際には、提供科目の開講日時が本学のオリエンテーション期間や、大学行事等に重ならないように留意してください。万一、重なった場合も、オリエンテーションや大学行事等への不参加の理由として認められません。

第4学年に  
おいて修得した  
単位は、本学の卒業  
所要単位として認定  
することは  
できません。

## 単位互換科目に関する諸連絡について

単位互換に関する諸連絡および科目開設大学から履修生への諸連絡(授業に関するお知らせ・休講・補講・試験等)については、出願時に登録したメールアドレスへ通知されます。詳細は以下のホームページにて、各自で確認してください。

大学コンソーシアム京都 単位互換・京カレッジポータルサイト

検索

(参考 URL)

<https://tg-kyoto.consortium.or.jp/>

<http://www.consortium.or.jp/project/tg/details>

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

## 短期海外語学研修

国際化する現代社会では、国際感覚を身につけることはもはや特別なことではありません。しかし、一言で国際感覚と言っても、その内容は多岐にわたります。諸外国の文化・歴史・社会情勢・価値観等を理解することで日本との相違を認識し、その国の人々と積極的に交流できることが、身につけておくべき重要な要素です。そのためには、生きた外国語の修得が求められることは言うまでもなく、実際に海外で地域文化に直に触れ、現地の人々とコミュニケーションをとることによって見聞を広めることは、国際感覚を磨くための体験として重要です。

本学が実施する短期海外語学研修は全学部の学生を対象としており、研修先は共通教養科目の必修外国語科目である「英語」、「中国語」、「韓国語」に対応した各国です。語学研修は「国際人の育成」を目的として独自に作成されたもので、現地講師の授業だけでなく、さまざまなアクティビティが設定されており、これらを通して貴重な体験が得られる機会を提供しています。

## 短期海外語学研修一覧（予定）

言語	国・地域	研修先	研修期間（日数）
英語	マルタ共和国	マルタ大学	8月上旬～8月下旬（約15日間）
	ニュージーランド	カンタベリー大学	8月上旬～8月下旬（約25日間）
	カナダ	ナイアガラカレッジ	8月上旬～8月下旬（約20日間）
	アメリカ	College of the Desert (C.O.D.)	3月上旬～3月下旬（約20日間）
	オーストラリア	ディーキン大学	2月上旬～3月中旬（約40日間）
中国語	台湾	慈済大学	2月中旬～2月下旬（約20日間）
韓国語	韓国	東國大学校	8月上旬～8月下旬（約15日間）

○各プログラムの詳細は、B-net および掲示にてお知らせします。

※応募人数や国際情勢により、これらのプログラムを中止、もしくは内容を変更する場合があります。

対象学科

理学療法学科

作業療法学科

看護学科

## 派遣留学・交換留学

本学が海外の大学との間で交わした学術交流協定に基づき、実施する留学制度です。全学部生が対象です。

## 派遣留学・交換留学一覧

国・地域	留学先	期間※
韓国	圓光大学校	2月～翌年3月
	東國大学校	2月～翌年3月
	江南大学校	2月～翌年3月
中国	西北大学	2月～翌年3月
台湾	東海大学	9月～翌年6月
	慈濟大学	9月～翌年6月
ベトナム	ホーチミン市外国語情報技術大学 (HUFLIT)	9月～翌年6月
アメリカ	College of the Desert (C.O.D.)	8月～翌年6月

※留学中は留学先の履修に専念し、本学開講科目（オンライン・免許併修含む）を履修することはできません。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## 通信教育課程との併修履修制度（「免許併修」）

担当：免許・資格課

### 「免許併修」とは

通学課程で在籍する学部・学科では取得できない教員免許状を、通信教育課程で履修することにより取得する制度です。

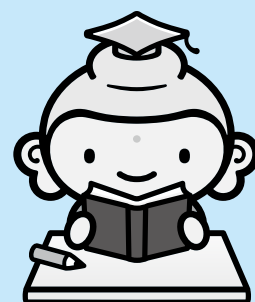
- ①「免許併修」で取得可能な教員免許状は、下表の【「免許併修」で取得可能な教員免許状一覧】に掲載されているとおりとなります。
- ②「免許併修」は、第2学年の4月から履修開始となります。入学手続きは1年生の所定期間に行うことが必要です。
- ③「免許併修」の1年生の所定期間に以下のとおり説明会を行います。
  - 【6月】履修方法や諸経費等に関する説明
  - 【12月】入学手続きに関する説明

※日時はB-netでお知らせします。
- ④「免許併修」において修得した単位は、通学課程の自由科目として単位認定されるため、卒業要件には算入できません。また「免許併修」の履修単位は、通学課程の年間の履修登録上限単位数には含まれません。
- ⑤通学課程における学籍異動がある場合、「免許併修」の学籍は以下のようになります。
  - イ) 「免許併修」には休学制度がありませんので、通学課程を休学する場合でも「免許併修」の学籍は継続（在学）となります。
  - ロ) 通学課程を退学・除籍となった場合は、「免許併修」の学籍も退学になります。
  - ハ) 「免許併修」で取得可能な教員免許状は通学課程の在籍する学部・学科によって限られているため、転学部・転学科を希望する場合には注意が必要です。
- ⑥通学課程を卒業すると「免許併修」の学籍は退学になります。「免許併修」で教員免許状の取得に必要な科目を履修できずに通学課程を卒業した場合、卒業後新たに通信教育課程に入学し、教員免許状の取得に向けて科目を履修することができます。

### 【「免許併修」で取得可能な教員免許状一覧】

通学在籍学科	理 学 療 法	作 業 療 法
免許の種類		
小学校2種	○	○

# VIII. 規程





## (趣旨)

第1条 佛教大学学則第3章および第4章の施行のために本規程を定める。

- 2 授業科目の履修方法等については、法令、学則またはこれらに基き特別の定めがあるもののほか、この規程の定めるところによる。

## (授業科目の登録)

第2条 履修しようとする授業科目は、指定された期間・方法で学生支援課に届出なければならない。

- 2 病気その他止むを得ない正当な事由により、指定された期間内に授業科目の登録または卒業論文題目の届出ができない場合は、直ちに延期事由を証明する書類を添えて、延期願（任意の書式）を学生支援課に提出し、指示を受けなければならない。
- 3 授業科目登録後の追加・変更は、原則として認めない。
- 4 定員制等により予備登録を必要とする授業科目は、予備登録の手続きを経てその登録が許可された者のみ履修登録することができる。
- 5 クラス指定されている授業科目は、原則としてその指定されたクラスのみ履修登録することができる。
- 6 指定された期間内に届出（登録）を完了しない場合は、当該セメスターにおける受講資格を失う。

## (授業科目の履修取消し)

第2条の2 学部が正当な理由があると認めた場合は、履修登録を取消することができる。

- 2 履修登録の取消しができる科目は、選択科目とし、原則として、必修科目、自由科目は履修取消しができない。
- 3 申請は指定された期間・方法で学生支援課に届け出なければならない。
- 4 申請期間以外の申請は原則認めない。但し、病気等その他止むを得ない正当な事由により申請ができなかった場合や、「実習科目」、「卒業論文」、「卒業研究」、「卒業レポート」は、申請期間外であっても履修取消しを認めることがある。
- 5 本条各項に規定する授業科目の履修取消制度は、2019年度以降第1学年次入学者より適用する。

## (授業科目の履修)

第3条 授業科目の授業総時間数の3分の1以上欠席した場合は、その科目の単位を修得できないことがある。

- 2 教育職員免許状を取得する者は、学則所定の教育職員免許状取得に関わる科目等に加え、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目に規定する本学基準開講科目を修得しなければならない。

## (試験)

第4条 試験の種類は、定期試験、追試験および再試験とする。

- 2 試験は、筆記試験、レポート（論文）試験、口述試験、実技試験またはその他の方法によって行ない、その方法については別に定める。
- 3 履修登録をしていない科目は、受験することができない。
- 4 学費未納者は、受験資格を失う。
- 5 追試験および再試験の実施にあたり、大学が指定した試験期日に受験しなかった場合は、事由のいかんに関わらず、当該科目の受験資格を失う。

## I

教育  
目標

## II

履修  
一般

## III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

## VIII

規程

- 6 追試験は、止むを得ない正当な事由により定期試験を受験できなかった者を対象として、学部教授会または大学院研究科教授会の議に基きこれを実施する。
- 7 前項における正当な事由とは、次の各号のいずれかに該当しなければならない。受験資格取得にかかわる課程の履修に関する事項について定める。
  - (1) 教育実習、博物館実習、図書館実習、介護等体験、ソーシャルワーク実習、社会福祉援助技術現場実習、精神保健福祉援助実習、保育実習、心理実習、社会教育実習、臨床基礎実習、臨床評価実習、総合臨床実習、基礎看護学実習、コミュニティ実習、クリティカルケア看護学実習、慢性看護学実習、成人看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、地域・在宅看護学実習、在宅看護学実習、公衆衛生看護学実習、統合実践看護実習、臨床心理実習および伝宗伝戒道場（加行）のいずれかを受講中の場合（本学の当該免許・資格取得課程受講者に限る）
  - (2) 病気、けがの場合（医師の診断書を添付）
  - (3) 不慮の事故または災害による被害者の場合（事故証明書、被災者証明書を添付）
  - (4) その他正当と認められる事由がある場合（事由が証明できる書類を添付）
- 8 追試験受験希望者は、事由を証明する書類を添えて、指定された期間・方法で学生支援課に届け出るとともに、受験手数料を納付しなければならない。
- 9 春学期の追試験は8月に、秋学期の追試験は2月に実施する。
- 10 再試験は、最終学年における3月および9月卒業予定者で単位不足により卒業できない場合、当該年度に登録履修した授業科目のうち4科目以内を合格すれば卒業の要件を充たす場合にのみ、学部教授会または大学院研究科教授会の議に基きこれを実施する。但し、次の各号に該当する科目は、再試験の対象としない。なお、保健医療技術学部および看護学部の期末再試験については別に定める。
  - (1) 卒業論文、卒業研究または卒業レポート（以下、「卒業論文等」という。）
  - (2) 定期試験を受験しなかった科目
  - (3) 出席不良により不合格となった科目
- 11 再試験受験希望者は、指定された期間・方法で学生支援課に届け出るとともに、所定の再試験料を納付しなければならない。
- 12 再試験における合格者の成績評価は、全て60点とする。
- 13 試験において次の場合は、不正行為とみなし学則により懲戒処分を行なう。さらに当該科目および当該学期に履修登録した全部もしくは一部の科目の登録を無効とする。
  - (1) 私語や態度について注意を与えても改めないとき。
  - (2) 許可なくして物品や教科書・ノート類を貸借したとき。
  - (3) 許可された以外の物を参照したとき。
  - (4) 代人受験をなし、またはなさしめたとき。
  - (5) その他監督者の指示に直ちに従わないとき。

### （成績評価）

第5条 成績評価は点数をもって行い、次の評語で表示する。また、本学が入学前の既修得単位によって認定した授業科目については、「認定」の評語で表示する。

(2019年度以降第1学年次入学者)

- S 100点～90点
- A 89点～80点
- B 79点～70点
- C 69点～60点
- D 59点以下
- X 未受験
- N 評価対象外

(2018年度以前第1学年次入学者)

- A 100点～80点
- B 79点～70点
- C 69点～60点
- D 59点以下
- X 未受験
- N 評価対象外

- 2 成績評価は60点(評語C)以上を合格とし、59点以下(評語D)、未受験(評語X)、評価対象外(評語N)は不合格とする。
- 3 学業成績を測る基準として、GPA (grade point average) (以下、「GPA」という)を使用する。GPAは、該当履修期間中の履修科目の成績評価を4点～0点のGP (grade point) に換算し、各GPに各科目の単位数を掛けて、それを履修科目の総単位数で割ったものをGPAとして、計算値は小数点第3位を四捨五入して表記する。

点数	成績評価	GP
100～90	S	4
89～80	A	3
79～70	B	2
69～60	C	1
59～0	D	0
未受験	X	0
評価対象外	N	0
履修取消	-	ポイントつけず
認定	認定	ポイントつけず

- 4 GPAは学生の学習・履修指導、進級・卒業判定、退学勧告等の基準として活用する。

### (成績の疑義申立)

第5条の2 成績について疑義申し立てを行なうことができる。

- 2 疑義申し立てをしようとするものについては、指定された期間・方法で学生支援課に届け出るものとする。  
なお、申し出可能期間は、原則として、評価当該学期の成績発表日を含め5日以内とする。

### (卒業論文等)

第6条 卒業論文等は、卒業予定セメスターにおいて履修登録しなければならない。

- 2 卒業論文題目は、指導教授の承認を得て、指定された期限までに届出なければならない。
- 3 卒業論文題目の届出を完了している者は、指定された期限までに卒業論文を学生支援課に提出しなければならない。

## I

### 教育 目標

## II

### 履修 一般

## III

### 教育 課程

### 共通

### 理学

### 作業

### 看護

### その他

## VIII

### 規程

- 4 仏教学部仏教学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒論ゼミ1」の登録資格を失う。また、第4学年第8セメスター時に、「卒論ゼミ1」を単位修得していない場合、「卒業論文」の提出資格を失う。
- 5 文学部日本文学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 6 文学部中国学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 7 歴史学部歴史学科、歴史文化学科、教育学部臨床心理学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。また、第4学年第8セメスター時に、「卒業研究ゼミ1」を単位修得していない場合、「卒業研究ゼミ2」の登録資格、ならびに「卒業論文」の提出資格を失う。
- 8 社会学部現代社会学科、公共政策学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「現代社会学卒業研究ゼミ1」もしくは「公共政策学卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 9 仏教学部仏教学科、文学部日本文学科、中国学科、歴史学部歴史学科、歴史文化学科の2010年度～2018年度第1学年次入学者、および教育学部臨床心理学科の2011年度～2018年度第1学年次入学者は、学則所定の卒業所要単位数のうち74単位以上を修得していない場合、卒業論文または卒業研究の提出資格ならびに「卒業研究ゼミ1」および「卒業研究ゼミ2」の登録資格を失う。
- 10 社会学部現代社会学科、公共政策学科の2013年度～2018年度第1学年次入学者は、学則所定の卒業所要単位数のうち74単位以上を修得していない場合、「現代社会学卒業研究ゼミ1」および「公共政策学卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 11 学費未納者は、卒業論文等の提出資格を失う。
- 12 卒業論文または卒業研究提出資格の認定は、第7および第8セメスター在学者を対象として、各学期始めに行なう。
- 13 卒業論文等は、別に定める学科所定の様式によらなければならない。
- 14 病気その他止むを得ない正当な事由により指定された期日までに卒業論文等を提出できない者で、事由を証明する書類を添えて延期願（任意の書式）を提出した者は、最大限2週間までその提出を延期することができる。

#### (卒業延期)

第7条 佛教大学学則第30条第2項に基き、各セメスター終了時における単位の修得状況により、卒業延期（留年）が確定するものとする。

#### (規程改廃)

第8条 本規程の改廃は、各学部教授会ならびに大学院各研究科教授会の議を経て、大学評議会の承認を得なければならない。

## 附 則

第1条 本規程は、「佛教大学修学規程」（昭和45年4月1日施行）を全面改正し、新規に制定するものとする。

第2条 本規程は、平成6年4月1日から施行する。

第3条 本規程は、平成9年4月1日から改正施行する。

第4条 本規程は、平成10年4月1日から改正施行する。

第5条 本規程は、平成12年4月1日から改正施行する。

第6条 本規程は、平成13年4月1日から改正施行する。

第7条 本規程は、平成19年4月1日から改正施行する。

第8条 本規程は、平成20年4月1日から改正施行する。

第9条 本規程は、平成21年4月1日から改正施行する。

第10条 本規程は、平成22年4月1日から改正施行する。

第11条 本規程は、平成23年4月1日から改正施行する。

第12条 本規程は、平成24年4月1日から改正施行する。

第13条 本規程は、平成25年4月1日から改正施行する。

第14条 本規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

第15条 本規程は、平成30年4月1日から改正施行する。

第16条 本規程は、平成31年4月1日から改正施行する。

第17条 本規程は、令和2年4月1日から改正施行する。

第18条 本規程は、令和4年4月1日から改正施行する。

第19条 本規程は、令和6年4月1日から改正施行する。

第20条 本規程は、令和7年4月1日から改正施行する。

第21条 本規程は、令和8年4月1日から改正施行する。

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VII

規程

## 【学則・規程】

- ・ 佛教大学学則
- ・ 佛教大学大学院学則
- ・ 佛教大学学位規程
- ・ 佛教大学学位規程細則
- ・ 佛教大学別科規程
- ・ 修学規程
- ・ 大学協議会規程
- ・ 学籍異動に関する規程
- ・ 佛教大学転籍規程
- ・ 佛教大学大学院転籍規程
- ・ 佛教大学大学院転籍に関する内規
- ・ 学費等納付規程
- ・ 大学院学費等納付規程
- ・ 佛教大学学生懲戒規程
- ・ 佛教大学奨学生奨学金給付規程
- ・ 佛教大学奨学生奨学金給付規程細則
- ・ 佛教大学大学院奨学生奨学金給付規程
- ・ 佛教大学外国人留学生特別奨学金給付規程
- ・ 佛教大学外国人留学生新生特別奨学金給付規程
- ・ 佛教大学私費外国人留学生奨学一時金給付規程
- ・ 佛教大学外国人留学生授業料減免規程
- ・ 佛教大学生外国留学奨学金規程
- ・ 佛教大学障害学生奨学金給付規程
- ・ 佛教大学奨学生および各種奨学生選考・推薦規程
- ・ 学資給付金規程
- ・ 学資給付金規程細則
- ・ 学資貸付金規程
- ・ 被災者に対する奨学金規程
- ・ 傷害治療費・修理費給付規程
- ・ 佛教大学教育後援会育英奨学金規程
- ・ 佛教大学教育後援会育英奨学生選考・推薦規程
- ・ 佛教大学教育後援会課外活動奨励制度規程
- ・ 佛教大学教育後援会短期貸付金規程
- ・ 遺失物・拾得物取扱規程
- ・ 学生の施設使用に関する規程
- ・ 学友会会則
- ・ 佛教大学におけるハラスメントに関する指針
- ・ ハラスメント相談窓口に関する規程
- ・ 鷹陵館利用規程
- ・ 鹿溪館使用規程
- ・ 鹿溪館使用規程細則
- ・ 佛教大学学生ボランティア支援制度規程
- ・ 就職斡旋規程
- ・ 学生の課外活動に関する規程
- ・ 学生の課外活動に関する規程細則
- ・ 課外活動援助金規程
- ・ 課外活動援助金規程細則
- ・ 課外活動における教室使用細則
- ・ 課外活動における鷹陵館施設使用細則
- ・ 課外活動における岩倉グラウンド施設使用細則
- ・ 課外活動における岩倉グラウンド  
セミナーハウス「光照」施設使用細則
- ・ 課外活動における広沢グラウンド施設使用細則
- ・ 課外活動における園部キャンパス・  
スポーツゾーン施設使用細則
- ・ 課外活動における園部キャンパス・スポーツゾーン  
セミナーハウス「和順」施設使用細則
- ・ 佛教大学情報セキュリティポリシー

各規程の最新の内容は[ホームページ](#)にて確認してください。

※トップページ > 学生生活 > 学生生活サポート > 学生生活基礎知識

I

教育  
目標

II

履修  
一般

III

教育  
課程

共通

理学

作業

看護

その他

VIII

規程

# 授業欠席届（複写後切り取って利用してください）

※提出方法等、詳細はp.29にあります。

## 授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者 先生

開講科目

欠席日・期間 月 日( ) ~ 月 日( )

実際に欠席した回数は、計 回

学部 学科 年生

学籍番号

-

氏名

### 欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。

※ この届出は授業欠席を報告するものであり、  
公欠として扱われるものではありません。

佛敎大学

## 授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者 先生

開講科目

欠席日・期間 月 日( ) ~ 月 日( )

実際に欠席した回数は、計 回

学部 学科 年生

学籍番号

-

氏名

### 欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。

※ この届出は授業欠席を報告するものであり、  
公欠として扱われるものではありません。

佛敎大学

## 授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者 先生

開講科目

欠席日・期間 月 日( ) ~ 月 日( )

実際に欠席した回数は、計 回

学部 学科 年生

学籍番号

-

氏名

### 欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。

※ この届出は授業欠席を報告するものであり、  
公欠として扱われるものではありません。

佛敎大学

## 授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者 先生

開講科目

欠席日・期間 月 日( ) ~ 月 日( )

実際に欠席した回数は、計 回

学部 学科 年生

学籍番号

-

氏名

### 欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。

※ この届出は授業欠席を報告するものであり、  
公欠として扱われるものではありません。

佛敎大学









